

江戸川区内中小企業の景況について

2019年1月～3月期



江戸川区生活振興部産業振興課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター

目 次

江戸川区内の中小企業の景況（2019年1月～3月期）	1
（各業種別の実績と来期の見込み）	
・ 製造業	2
・ 小売業	7
・ サービス業	11
・ 建設業	14
調査員のコメント／経営者から寄せられた声	17
江戸川区と東京都全体の企業倒産動向	18
特別調査「中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について」	19
東京都全体の中小企業の景況（2019年1月～3月期）	25
江戸川区と東京都全体の比較表	26
江戸川区の業種別転記表	29

調査の概要

1. 調査時期 2019年3月上旬（四半期毎実施）
2. 調査方法 面接聴取（東京都信用金庫協会の会員信用金庫による）
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	205	200
小 売 業	99	96
サ ー ビ ス 業	75	73
建 設 業	65	62
合 計	444	431

4. 未集計事業所の内訳

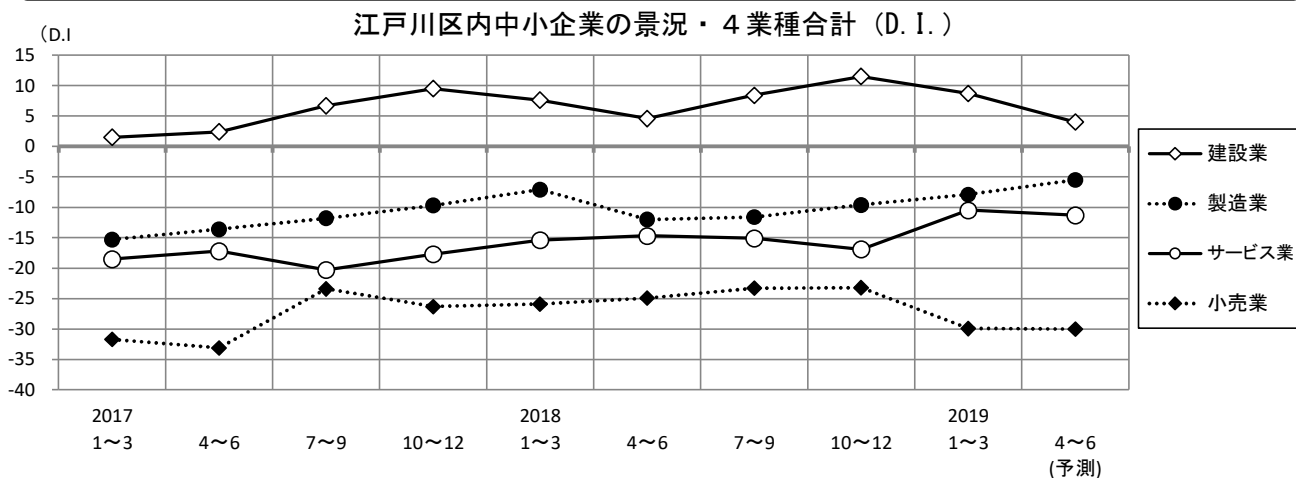
倒産・廃業	事業転換	移 転	不在が続く	調査拒否	取引解消	休 業	その他	合 計
10	0	0	0	1	1	1	0	13

江戸川区内の中小企業の景況（2019年1月～3月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況判断DIは前期（-10.7）から0.2ポイント低下し-10.9に。

～サービス業は大きく持ち直し、製造業も改善するが、小売業が低迷、建設業の好感度がやや後退。～



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-10.9（前期は-10.7）と前期に比べ0.2ポイント低下した。業種別に見ると、サービス業が大きく持ち直し、製造業が多少改善したが、小売業が低迷し、建設業の好感度がやや後退した。

来期は、製造業が引き続き改善するが、小売業とサービス業は今期並の水準で推移し、建設業は好感度がさらに後退すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-9.6	-7.9	1.7	-5.5	2.4
小売業	-23.2	-29.9	-6.7	-30.0	-0.1
サービス業	-16.9	-10.5	6.4	-11.3	-0.8
建設業	11.5	8.7	-2.8	4.0	-4.7
総合	-10.7	-10.9	-0.2	-10.6	0.3

※前期（2018年10～12月） 来期（2019年4～6月）

※「総合」は上記の4業種でのD.I.値

<製造業>

業況は前期並の水準で推移したが、この4期でみると改善傾向にある。売上額と収益はともに大きく改善し、受注残は幾分持ち直した。価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格は前期並の水準が続いた。原材料在庫数量は品薄感がなくなり適正範囲になった。

業種別に見ると、「プラスチック製品」は前期並の好感が続いた。「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」は持ち直して、大きくプラスに転じた。「木材・木製品、家具・装備品」は水面下ながら大きく持ち直し、「パルプ・紙、印刷、製本業」は悪化幅がわずかに改善した。「繊維工業、衣服・その他の繊維製品」は前期並の悪化幅が続いた。「金属製品、建設用金属製品」は悪化幅がわずかに拡大し、「食料品」は悪化幅が大きく拡大した。

来期の業況は引き続き改善傾向が続くと見込んでいる。売上額、収益、受注残はともに今期並の水準で推移すると予想している。

<小売業>

業況は悪化幅がかなり強まった。売上額は前期並の減少が続いたが、収益は多少持ち直した。価格面では、販売価格は上昇幅がかなり拡大し、仕入価格は前期同様の上昇幅で推移した。

業種別に見ると、「食料品」は前期同様の悪化幅で推移し、「衣服、呉服、身の回り品」と「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は悪化幅がさらに大きく拡大した。

来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込んでおり、売上額と収益も今期同様の減少幅が続くと予想している。

<サービス業>

業況は悪化幅がかなり縮小した。売上額は大きく持ち直したが、収益は前期同様の低下基調で推移した。価格面では、料金価格はふたたび上昇からわずかに下降に転じたが、材料価格は前期並の上昇が続いた。

来期の業況は今期並の悪化幅が続くと見ている。売上額は多少減少を強めるが、収益は多少改善すると予想している。

<建設業>

業況は好感度がわずかに後退した。売上額は増加傾向がかなり後退した。受注残は増勢が多少後退し、施工高と収益も増勢が大きく弱まった。価格面では、請負価格は上昇が一服し、材料価格は上昇がかなり強まった。

来期の業況は好感度がさらに弱まると見ており、売上額と収益は増勢から減少に大きく転じ、受注残と施工高も増加から水面下に大きく落込むと予想している。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（ $\Delta 11.6 \rightarrow \Delta 9.6 \rightarrow \Delta 7.9$ ）は前期並の水準で推移したが、この４期でみると改善傾向にある。

売上額（ $\Delta 10.9 \rightarrow \Delta 9.5 \rightarrow \Delta 2.4$ ）と、収益（ $\Delta 16.8 \rightarrow \Delta 12.6 \rightarrow \Delta 4.4$ ）はともに大きく改善し、受注残（ $\Delta 12.0 \rightarrow \Delta 6.2 \rightarrow \Delta 2.6$ ）は幾分持ち直した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 5.5$ 予想）は引続き改善傾向が続くと見込んでいる。売上額（ $\Delta 2.7$ 予想）、収益（ $\Delta 4.8$ 予想）、受注残（ $\Delta 4.2$ 予想）はともに今期並の水準で推移すると予想している。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（ $\Delta 1.0 \rightarrow \Delta 1.2 \rightarrow \Delta 0.2$ ）は変動なく推移し、原材料価格（ $23.4 \rightarrow 18.7 \rightarrow 17.5$ ）は前期並の水準が続いた。原材料在庫数量（ $\Delta 3.5 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow 0.1$ ）は品薄感がなくなり適正範囲になった。

来期の見通しについて、販売価格（ $\Delta 1.0$ 予想）は今期同様変動なく推移し、原材料価格（ 13.9 予想）はやや上昇が弱まると見込んでいる。原材料在庫数量（ 0.5 予想）は適正範囲が保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 7.8 \rightarrow \Delta 7.7 \rightarrow \Delta 8.6$ ）は前期並の厳しさが続き、借入難易度（ $1.7 \rightarrow \Delta 2.3 \rightarrow 2.9$ ）は容易な状況にわずかに転じた。

設備投資を「実施した」企業（ $17.0\% \rightarrow 16.0\% \rightarrow 15.9\%$ ）は前期から0.1ポイント減少した。

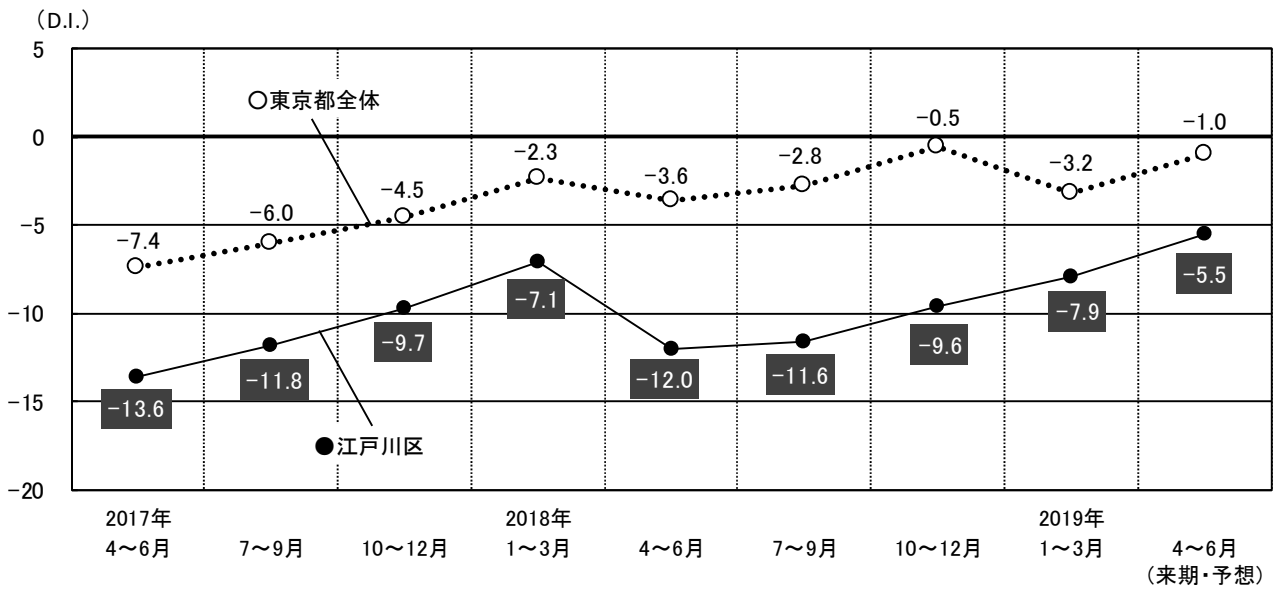
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 6.2$ 予想）はわずかに改善すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

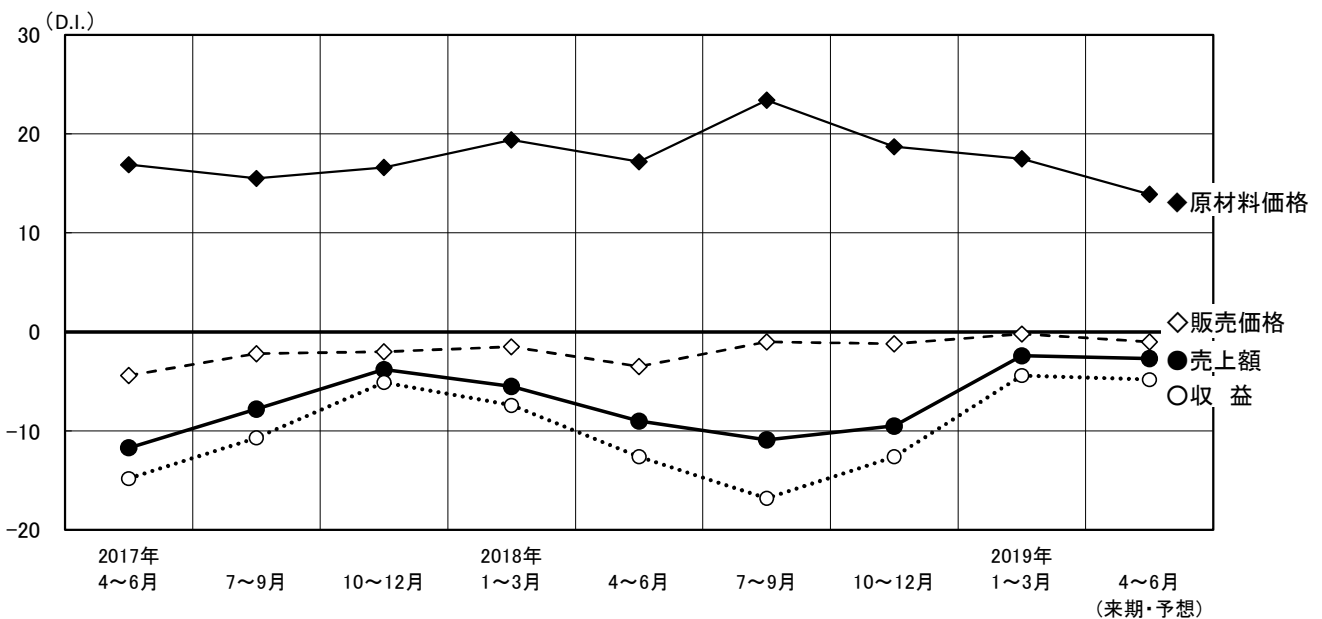
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（ 29.5% ）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（ 25.0% ）、「原材料高」、「人手不足」（各 16.0% ）、「利幅の縮小」（ 15.0% ）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（ 50.0% ）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（ 39.0% ）、「情報力を強化する」（ 13.0% ）、「人材を確保する」（ 12.5% ）、「新製品・技術を開発する」（ 8.5% ）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

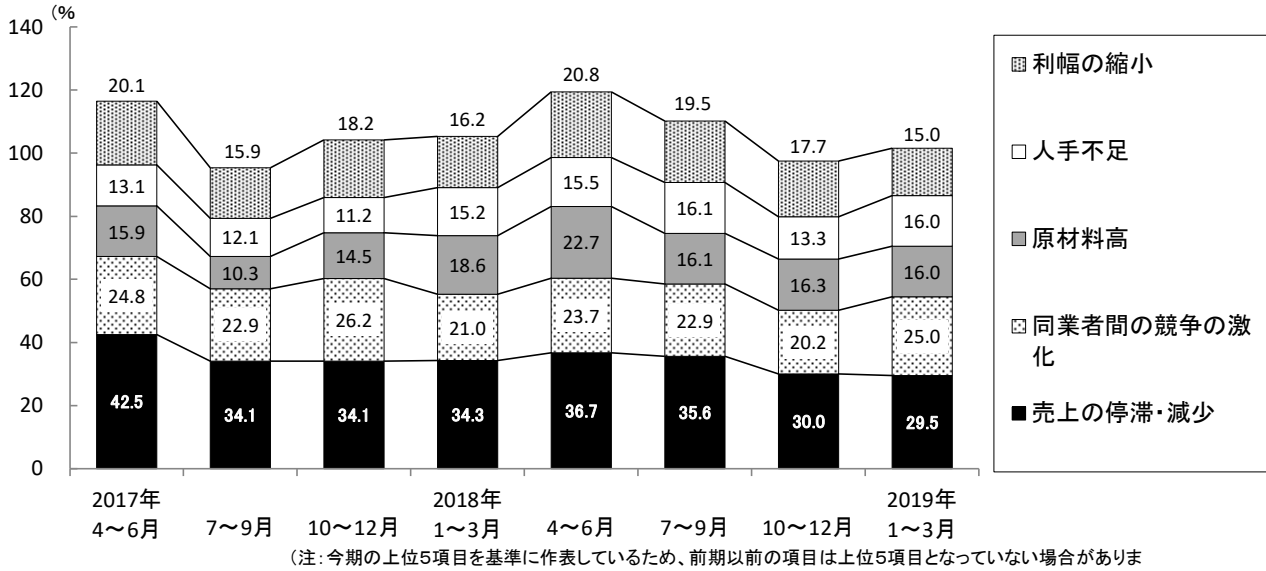


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



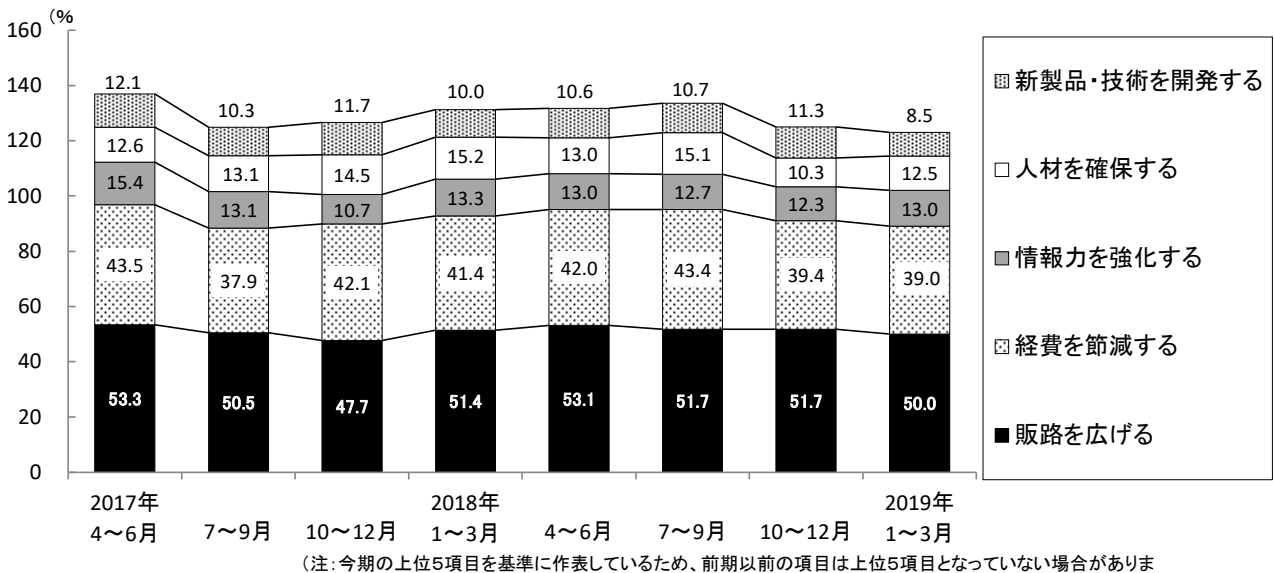
【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
売上の停滞・減少	36.7%	売上の停滞・減少	35.6%	売上の停滞・減少	30.0%	売上の停滞・減少	29.5%
同業者間の競争の激化	23.7%	同業者間の競争の激化	22.9%	同業者間の競争の激化	20.2%	同業者間の競争の激化	25.0%
原材料高	22.7%	利幅の縮小	19.5%	利幅の縮小	17.7%	原材料高	16.0%
利幅の縮小	20.8%	原材料高	16.1%	原材料高	16.3%	人手不足	
人手不足	15.5%	人手不足			人手不足	13.3%	利幅の縮小



【製造業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
販路を広げる	53.1%	販路を広げる	51.7%	販路を広げる	51.7%	販路を広げる	50.0%
経費を節減する	42.0%	経費を節減する	43.4%	経費を節減する	39.4%	経費を節減する	39.0%
人材を確保する	13.0%	人材を確保する	15.1%	情報力を強化する	12.3%	情報力を強化する	13.0%
情報力を強化する		情報力を強化する	12.7%	新製品・技術を開発する	11.3%	人材を確保する	12.5%
新製品・技術を開発する	10.6%	新製品・技術を開発する	10.7%	人材を確保する	10.3%	新製品・技術を開発する	8.5%



製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 食料品

業況（ $\Delta 2.8 \rightarrow \Delta 15.4 \rightarrow \Delta 22.5$ ）は悪化幅が大きく拡大した。売上額（ $\Delta 1.0 \rightarrow \Delta 12.6 \rightarrow \Delta 16.2$ ）はわずかに減少を強めたが、受注残（ $\Delta 4.2 \rightarrow \Delta 18.4 \rightarrow \Delta 16.6$ ）と収益（ $\Delta 15.1 \rightarrow \Delta 10.9 \rightarrow \Delta 12.7$ ）は前期並の減少幅で推移した。

販売価格（ $0.5 \rightarrow 0.5 \rightarrow 5.3$ ）はやや上昇が強まり、原材料価格（ $26.9 \rightarrow 24.0 \rightarrow 34.1$ ）は上昇幅が大幅に拡大した。

資金繰り（ $0.5 \rightarrow 15.7 \rightarrow \Delta 5.9$ ）は容易な状況から厳しい状況に極端に転じ、借入難易度（ $\Delta 7.7 \rightarrow \Delta 7.7 \rightarrow \Delta 18.2$ ）も窮屈感が大きく強まった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 1.2$ 予想）は水面下ながら極端に改善すると見ている。売上額（ $\Delta 4.0$ 予想）と収益（ $\Delta 4.3$ 予想）はともに大きく持ち直し、受注残（ $\Delta 0.4$ 予想）も不足感がなくなってくると見込まれている。販売価格（ 9.2 予想）は幾分上昇が強まり、原材料価格（ 25.6 予想）はかなり上昇が弱まると予想している。

② 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（ $\Delta 36.8 \rightarrow \Delta 34.7 \rightarrow \Delta 35.4$ ）は前期並の悪化幅が続いた。売上額（ $\Delta 44.4 \rightarrow \Delta 16.0 \rightarrow \Delta 31.4$ ）と収益（ $\Delta 34.8 \rightarrow \Delta 23.0 \rightarrow \Delta 37.4$ ）はともに大幅に減少し、受注残（ $\Delta 53.3 \rightarrow \Delta 31.5 \rightarrow \Delta 34.3$ ）もわずかに減少が強まった。

販売価格（ $\Delta 12.0 \rightarrow 2.2 \rightarrow \Delta 16.1$ ）は再び上昇から下降に大きく転じ、原材料価格（ $8.2 \rightarrow 7.9 \rightarrow 3.1$ ）はわずかに上昇が弱まった。

資金繰り（ $\Delta 26.3 \rightarrow \Delta 29.2 \rightarrow \Delta 39.6$ ）は苦しさが大きく増したが、借入難易度（ $\Delta 18.2 \rightarrow \Delta 18.2 \rightarrow \Delta 8.4$ ）は厳しさがかなり緩和された。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 32.2$ 予想）は幾分持ち直し、売上額（ $\Delta 22.3$ 予想）、収益（ $\Delta 20.5$ 予想）、受注残（ $\Delta 27.3$ 予想）はいずれも大幅に改善すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 8.8$ 予想）は水面下ながら大きく改善し、原材料価格（ 1.5 予想）今期並の水準で推移すると予想している。

③ 木材・木製品、家具・装備品

業況（ $\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 11.1 \rightarrow \Delta 3.7$ ）は水面下ながら大きく持ち直した。売上額（ $\Delta 17.5 \rightarrow \Delta 8.2 \rightarrow 3.5$ ）と受注残（ $\Delta 6.0 \rightarrow \Delta 4.9 \rightarrow 1.0$ ）はともに減少から増加に転じ、収益（ $\Delta 14.2 \rightarrow \Delta 12.5 \rightarrow \Delta 3.1$ ）も水面下ながら大幅に改善した。

販売価格（ $\Delta 4.4 \rightarrow \Delta 4.9 \rightarrow \Delta 3.4$ ）は前期並の下降幅で推移し、原材料価格（ $13.9 \rightarrow 12.5 \rightarrow 4.1$ ）は上昇がかなり弱まった。

資金繰り（ $\Delta 4.0 \rightarrow \Delta 4.6 \rightarrow \Delta 14.1$ ）は苦しさが大きく強まったが、借入難易度（ $\Delta 7.2 \rightarrow 0.0 \rightarrow 0.0$ ）は前期同様の水準で推移した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 16.2$ 予想）は悪化幅が大きく拡大すると予想されており、売上額（ $\Delta 3.9$ 予想）と受注残（ $\Delta 8.6$ 予想）はふたたび増加から減少に転じ、収益（ $\Delta 2.8$ 予想）は前期並の水準で推移すると見込まれている。販売価格（ $\Delta 9.1$ 予想）は下降幅が多少拡大し、原材料価格（ 8.7 予想）は上昇が幾分強まると予想している。

④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $\Delta 25.7 \rightarrow \Delta 23.7 \rightarrow \Delta 21.7$ ）は悪化幅がわずかに改善し、売上額（ $\Delta 28.9 \rightarrow \Delta 40.8 \rightarrow \Delta 18.1$ ）と収益（ $\Delta 26.9 \rightarrow \Delta 30.5 \rightarrow \Delta 8.6$ ）は水面下ながら極端に持ち直し、受注残（ $\Delta 20.8 \rightarrow \Delta 24.4 \rightarrow \Delta 12.0$ ）も減少傾向が大きく改善された。

販売価格（ $8.8 \rightarrow 0.3 \rightarrow 5.7$ ）はふたたび上昇傾向が強まり、原材料価格（ $22.8 \rightarrow 28.3 \rightarrow 22.5$ ）は上昇がかなり弱まった。

資金繰り（ $\Delta 19.9 \rightarrow \Delta 13.6 \rightarrow \Delta 15.9$ ）は厳しさが幾分強まったが、借入難易度（ $\Delta 9.5 \rightarrow \Delta 4.7 \rightarrow 4.6$ ）も窮屈感がなくなり容易になった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 21.2$ 予想）は今期同様の悪化幅が続くと見ており、売上額（ $\Delta 28.3$ 予想）、受注残（ $\Delta 24.2$ 予想）、収益（ $\Delta 19.3$ 予想）はともに減少幅が大きく拡大すると見込まれている。販売価格（ 4.0 予想）は今期並の上昇幅で推移し、原材料価格（ 18.3 予想）は上昇が若干弱まると予想している。

⑤ 金属製品、建設用金属製品

業況 ($\Delta 20.8 \rightarrow \Delta 3.7 \rightarrow \Delta 8.5$) は悪化幅がわずかに拡大した。売上額 ($\Delta 13.6 \rightarrow \Delta 8.8 \rightarrow 0.0$) と収益 ($\Delta 18.6 \rightarrow \Delta 14.0 \rightarrow \Delta 2.0$) は大きく持ち直し、減少が一服したが、受注残 ($\Delta 20.0 \rightarrow 0.9 \rightarrow \Delta 4.7$) はふたたび水面下に落ち込んだ。

販売価格 ($\Delta 9.5 \rightarrow \Delta 5.1 \rightarrow \Delta 2.4$) は下降幅がわずかに縮小し、原材料価格 (28.6 \rightarrow 20.7 \rightarrow 26.2) は上昇傾向がかなり強まった。

資金繰り ($\Delta 14.7 \rightarrow \Delta 13.2 \rightarrow \Delta 9.7$) は幾分苦しさが和らぎ、借入難易度 ($\Delta 4.3 \rightarrow \Delta 8.3 \rightarrow 0.0$) も大きく改善し、厳しさがなくなった。

来期の見通しは、業況 ($\Delta 1.8$ 予想) はふたたび持ち直し、明るさが見えてくると見ている。売上額 ($\Delta 1.0$ 予想) と受注残 ($\Delta 3.2$ 予想) は今期並の水準で推移するが、収益 (1.1 予想) は改善し、わずかに増加に転じると見込まれている。販売価格 ($\Delta 2.9$ 予想) はほぼ横這いで推移し、原材料価格 (20.5 予想) は上昇が若干弱まると予想している。

⑥ 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況 ($\Delta 5.1 \rightarrow \Delta 2.1 \rightarrow 7.3$) は持ち直して、大きくプラスに転じた。売上額 ($\Delta 7.6 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow 10.4$) と収益 ($\Delta 18.3 \rightarrow \Delta 2.0 \rightarrow 3.9$) も大幅に改善し増加に転じ、受注残 ($\Delta 1.7 \rightarrow 6.8 \rightarrow 12.8$) は増加傾向がかなり強まった。

販売価格 (2.8 \rightarrow 4.3 \rightarrow 4.4) はほぼ前期並みの上昇が続き、原材料価格 (25.9 \rightarrow 12.7 \rightarrow 19.4) は上昇がかなり強まった。

資金繰り ($\Delta 3.8 \rightarrow \Delta 3.7 \rightarrow \Delta 8.3$) はわずかに苦しさが強まったが、借入難易度 (13.3 \rightarrow 0.0 \rightarrow 9.7) は容易さが大幅に増した。

来期の見通しは、業況 (7.5 予想) は今期並の好調感が続くと見ている。売上額 (12.9 予想) と収益 (6.6 予想) はわずかに増加幅が拡大するが、受注残 (9.1 予想) は増勢が幾分後退すると見込まれている。販売価格 (5.7 予想) は今期同様の水準で推移するが、原材料価格 (12.3 予想) は大幅に上昇が弱まると予想している。

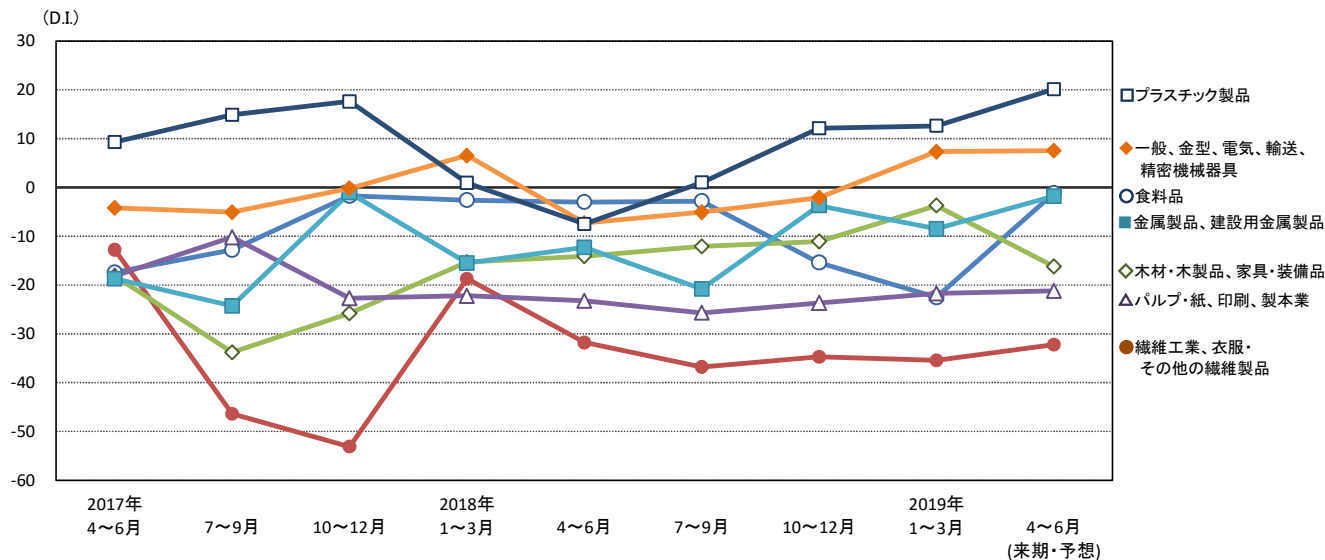
⑦ プラスチック製品

業況 (1.0 \rightarrow 12.1 \rightarrow 12.6) は前期並の良好感が続いた。売上額 ($\Delta 2.1 \rightarrow 5.9 \rightarrow 20.7$) と収益 (0.8 \rightarrow Δ 0.3 \rightarrow 18.1) は増加傾向を大きく強め、受注残 ($\Delta 5.5 \rightarrow 8.0 \rightarrow 11.1$) も増加幅がやや拡大した。

販売価格 (8.2 \rightarrow 4.8 \rightarrow Δ 4.5) は上昇から下降に大きく転じ、原材料価格 (18.4 \rightarrow 23.9 \rightarrow 14.8) は上昇傾向が大幅に弱まった。

資金繰り ($\Delta 0.1 \rightarrow \Delta 6.7 \rightarrow 13.3$) は苦しい状況から容易な状況になり、借入難易度 (25.0 \rightarrow 15.4 \rightarrow 31.3) は容易さが大幅に増した。

来期の見通しは、業況 (20.1 予想) は良好感がさらに大きく強まると見ている。売上額 (20.5 予想) は今期並の増加幅で推移し、受注残 (17.9 予想) は増加幅が大きく拡大するが、収益 (10.0 予想) は増加幅がかなり縮小すると見込まれている。販売価格 (Δ 9.1 予想) はわずかに下降傾向が強まり、原材料価格 (14.3 予想) は今期同様の上昇幅で推移すると予想している。



小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 23.3 \rightarrow \Delta 23.2 \rightarrow \Delta 29.9$ ）は悪化幅がかなり強まった。

売上額（ $\Delta 10.1 \rightarrow \Delta 15.2 \rightarrow \Delta 14.7$ ）は前期並の減少が続いたが、収益（ $\Delta 10.9 \rightarrow \Delta 15.9 \rightarrow \Delta 12.3$ ）は多少持ち直した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 30.0$ 予想）は今期並の悪化幅で推移すると見込んでおり、売上額（ $\Delta 14.0$ 予想）と収益（ $\Delta 13.3$ 予想）も今期同様の減少幅が続くと予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $4.9 \rightarrow 3.8 \rightarrow 9.1$ ）は上昇幅がかなり拡大し、仕入価格（ $9.7 \rightarrow 10.0 \rightarrow 9.3$ ）は前期同様の上昇幅で推移した。

在庫数量（ $\Delta 3.1 \rightarrow \Delta 2.5 \rightarrow \Delta 1.9$ ）は適正水準となった。

来期の見通しについて、販売価格（ 2.8 予想）は上昇幅がかなり縮小するが、仕入価格（ 9.7 予想）は今期並の上昇が続くと見込んでいる。在庫数量（ $\Delta 0.4$ 予想）は引続き適正水準が保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 14.8 \rightarrow \Delta 13.8 \rightarrow \Delta 14.1$ ）と借入難易度（ $\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 7.3 \rightarrow \Delta 9.1$ ）はともに今期並の厳しさが続いた。

設備投資を「実施した」企業（ $3.2\% \rightarrow 3.2\% \rightarrow 5.3\%$ ）は前期から 2.1% の増加となった。

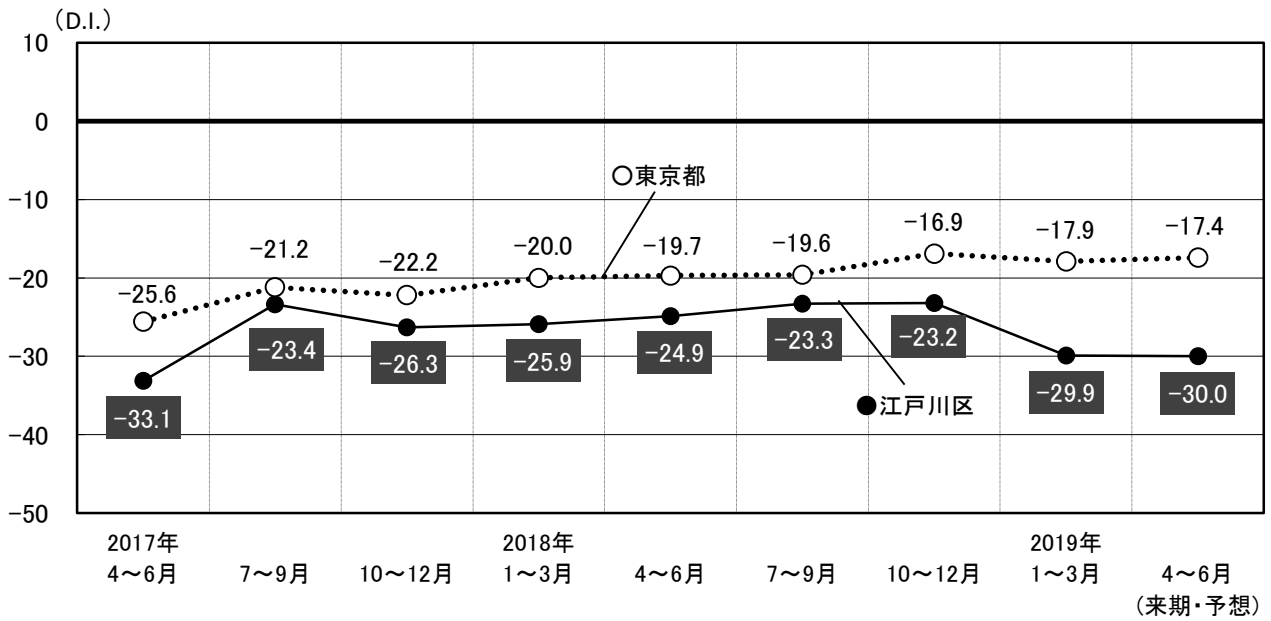
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 14.4$ 予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

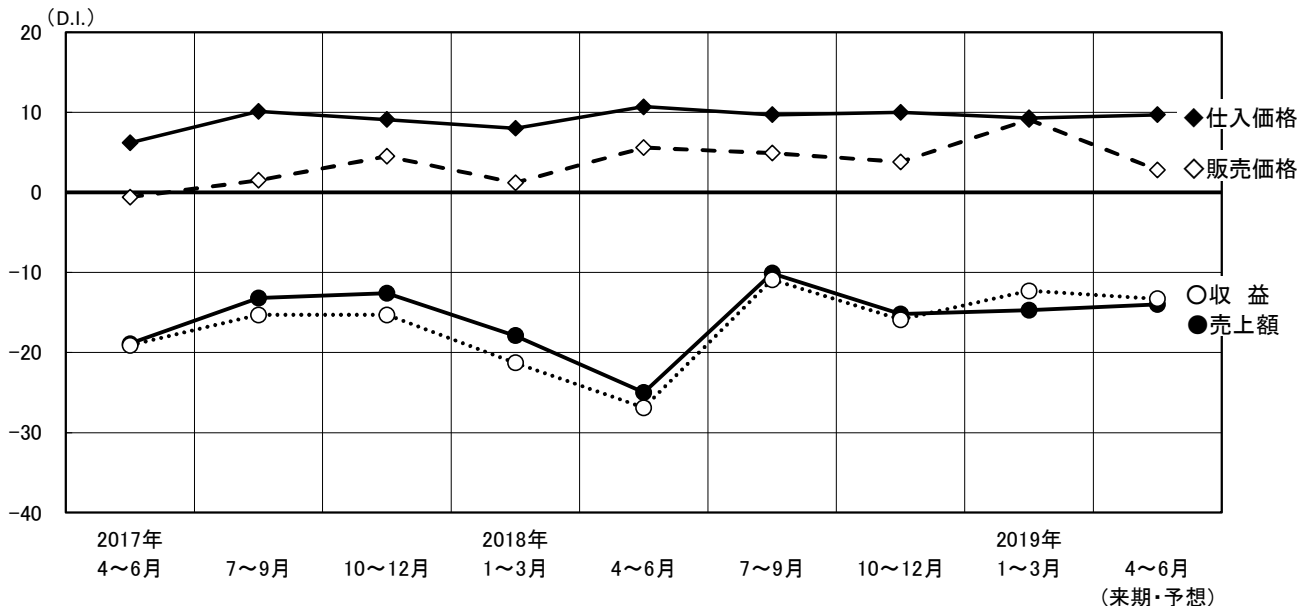
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（ 40.6% ）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（ 29.2% ）、「大型店との競争の激化」（ 26.0% ）、「商店街の集客力の低下」（ 14.6% ）、「利幅の縮小」（ 13.5% ）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（ 35.4% ）が今期も最多となった。以下、「品揃えを改善する」（ 27.1% ）、「宣伝・広報を強化する」（ 21.9% ）「商店街事業を活性化させる」（ 15.6% ）、「売れ筋商品を取り扱う」（ 13.5% ）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

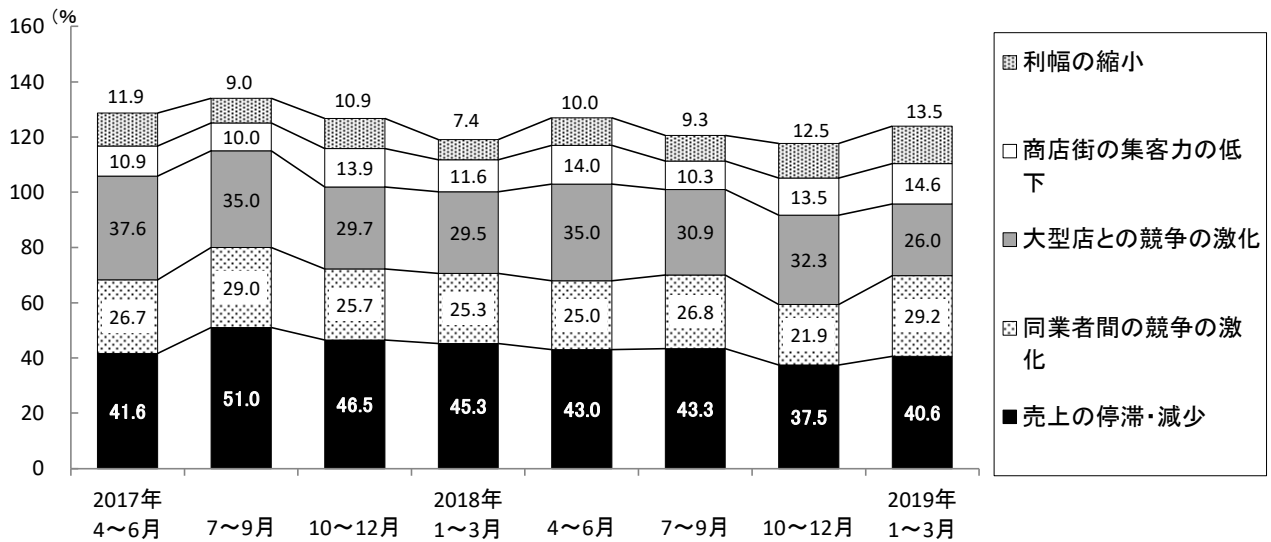


【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



【小売業】 経営上の問題点 (複数回答)

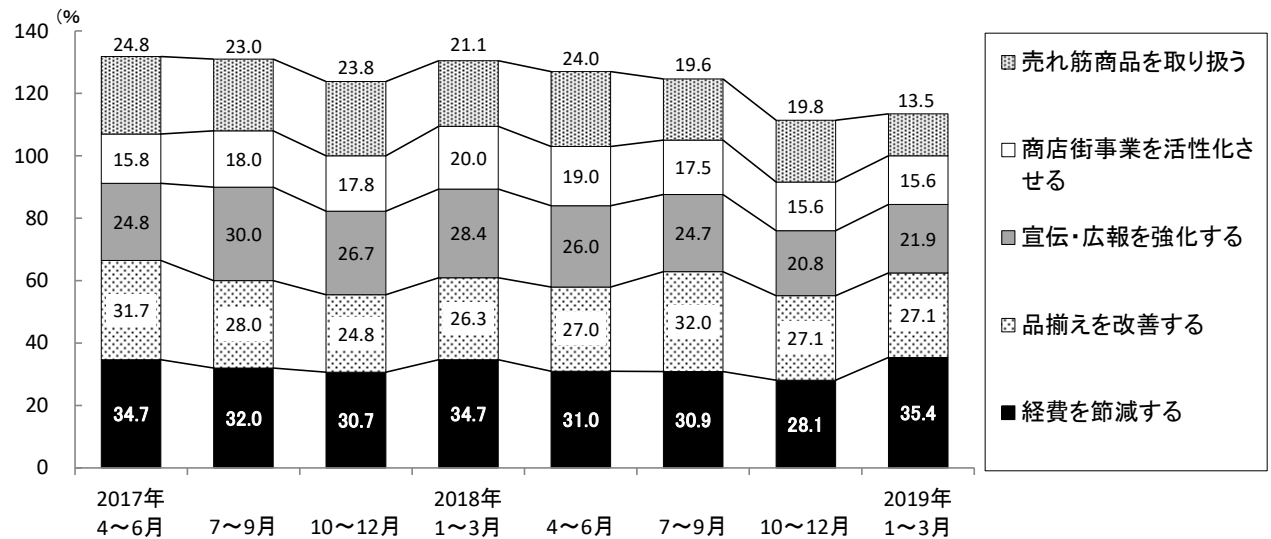
2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
売上の停滞・減少	43.0%	売上の停滞・減少	43.3%	売上の停滞・減少	37.5%	売上の停滞・減少	40.6%
大型店との競争の激化	35.0%	大型店との競争の激化	30.9%	大型店との競争の激化	32.3%	同業者間の競争の激化	29.2%
同業者間の競争の激化	25.0%	同業者間の競争の激化	26.8%	同業者間の競争の激化	21.9%	大型店との競争の激化	26.0%
商店街の集客力の低下	14.0%	商圈人口の減少	11.3%	商店街の集客力の低下	13.5%	商店街の集客力の低下	14.6%
利幅の縮小	10.0%	商店街の集客力の低下	10.3%	利幅の縮小	12.5%	利幅の縮小	13.5%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります)

【小売業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
経費を節減する	31.0%	品揃えを改善する	32.0%	経費を節減する	28.1%	経費を節減する	35.4%
品揃えを改善する	27.0%	経費を節減する	30.9%	品揃えを改善する	27.1%	品揃えを改善する	27.1%
宣伝・広報を強化する	26.0%	宣伝・広報を強化する	24.7%	宣伝・広報を強化する	20.8%	宣伝・広報を強化する	21.9%
売れ筋商品を取り扱う	24.0%	売れ筋商品を取り扱う	19.6%	売れ筋商品を取り扱う	19.8%	商店街事業を活性化させる	15.6%
商店街事業を活性化させる	19.0%	商店街事業を活性化させる	17.5%	商店街事業を活性化させる	15.6%	売れ筋商品を取り扱う	13.5%



(注: 今期の上位5項目を基準に作表しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります)

小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 衣服、呉服、身の回り品

業況（△14.0→△10.9→△19.8）は悪化幅が大きく拡大したが、売上額（△22.8→△17.1→△0.5）と収益（△12.4→△10.4→△1.4）は水面下ながら大幅に改善した。

販売価格（△11.5→△1.9→△1.1）と仕入価格（△6.5→△4.5→△3.8）はともに前期同様の水準で推移した。

資金繰り（△12.2→△17.7→△17.2）は前期並の苦しさで推移したが、借入難易度（△27.3→△9.1→△20.0）は厳しさが大きく増した。

来期の見通しは、業況（△19.7 予想）は今期並の悪化幅が続くと見ているが、売上額（△4.3 予想）と収益（△4.6 予想）は多少減少を強めると見込まれている。販売価格（△1.8 予想）と仕入価格（△3.3 予想）はともに今期並の水準で推移すると予想している。

② 飲食料品

業況（△36.4→△28.5→△30.1）は前期同様の悪化幅で推移した。売上額（△16.5→△9.3→△16.4）は減少幅がかなり拡大したが、収益（△23.8→△14.7→△13.0）は前期並の減少幅が続いた。

販売価格（5.2→7.7→19.9）は上昇傾向が大幅に拡大し、仕入価格（11.8→10.3→13.0）はわずかに上昇を強めた。

資金繰り（△19.0→△14.4→△10.4）は苦しさが多少和らぎ、借入難易度（△19.3→△22.8→△13.0）は厳しさが大幅に緩和された。

来期の見通しは、業況（△28.4 予想）は今期並の悪化幅が続く、売上額（△15.9 予想）も今期同様の水準で推移すると見ているが、収益（△15.8 予想）は減少が多少強まると見込まれている。販売価格（11.9 予想）は上昇傾向が大きく弱まり、仕入価格（16.2 予想）は若干上昇が強まると予想している。

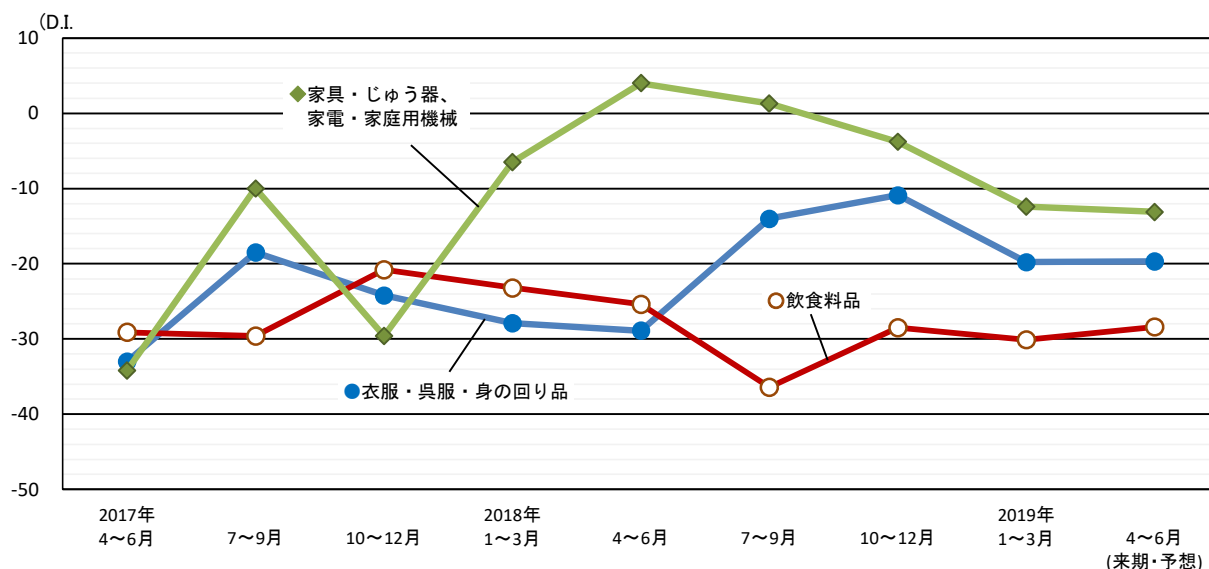
③ 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（1.3→△3.8→△12.4）は悪化幅がさらに大きく拡大した。売上額（11.1→2.9→△7.1）と収益（19.1→2.5→△8.6）も増加から減少に大きく転じた。

販売価格（0.6→0.1→1.7）と仕入価格（0.7→1.7→0.0）は前期並の水準で推移した。

資金繰り（△24.0→△18.9→△19.3）は前期並の苦しさが続く、借入難易度（9.1→10.0→10.0）は前期同様の容易な状況が保たれた。

来期の見通しは、業況（△13.1 予想）は今期並の悪化幅が続くと見ている。売上額（△10.8 予想）はわずかに減少幅が拡大するが、収益（△10.4 予想）は今期並の水準で推移すると見込まれている。販売価格（8.4 予想）は上昇幅が大きく拡大し、仕入価格（△0.5 予想）は今期同様の落ち着きが続くと予想している。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△15.1→△16.9→△10.5）は悪化幅がかなり縮小した。

売上額（△5.8→△17.9→△11.0）は大きく持ち直したが、収益（△14.8→△16.2→△16.2）は前期同様の低下基調で推移した。

来期の見通しについて、業況（△11.3予想）は今期並の悪化幅が続くと見ている。売上額（△15.8予想）は多少減少を強めるが、収益（△12.4予想）は多少改善すると予想している。

（２）料金価格、材料価格

料金価格（△4.6→1.5→△1.2）はふたたび上昇からわずかに下降に転じたが、材料価格（15.8→15.9→14.7）は前期並の上昇が続いた。

来期の見通しについて、料金価格（△2.9予想）は今期並の水準で推移し、材料価格（12.3予想）は上昇が多少弱まると予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△11.8→△11.0→△17.6）は苦しさが大きく強まったが、借入難易度（△2.2→0.0→0.0）は前期同様変わらず推移した。

設備投資を「実施した」企業（14.7%→15.5%→11.4%）は、前期から4.1ポイント減少した。

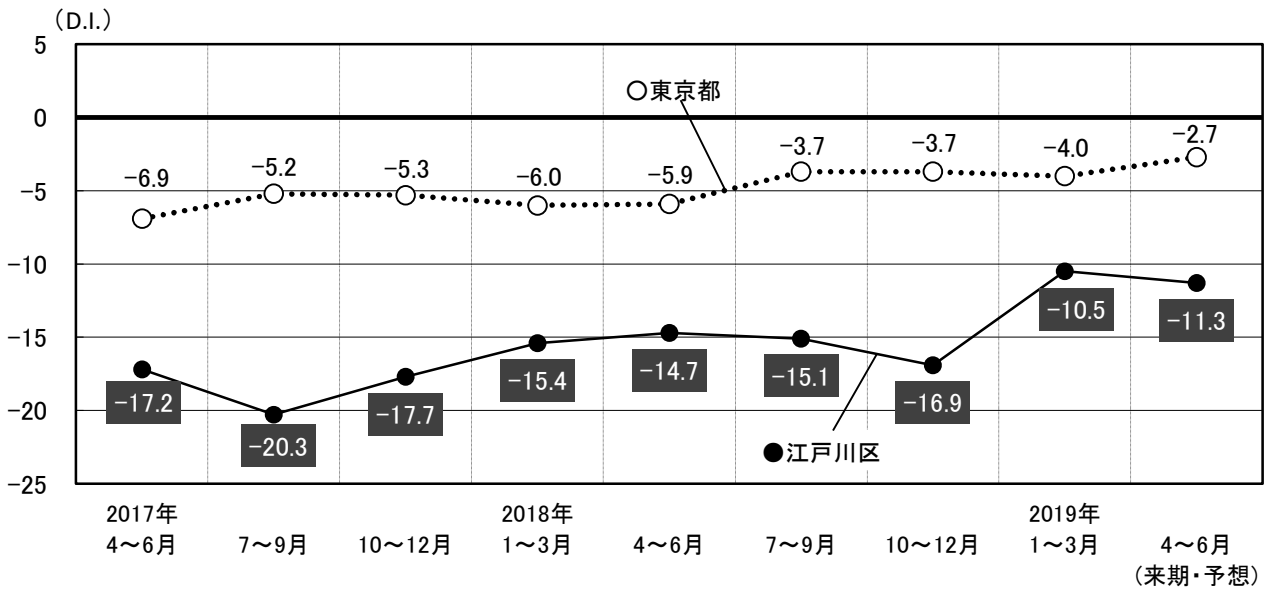
来期の見通しについて、資金繰り（△18.7予想）は今期並の苦しい状況が続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

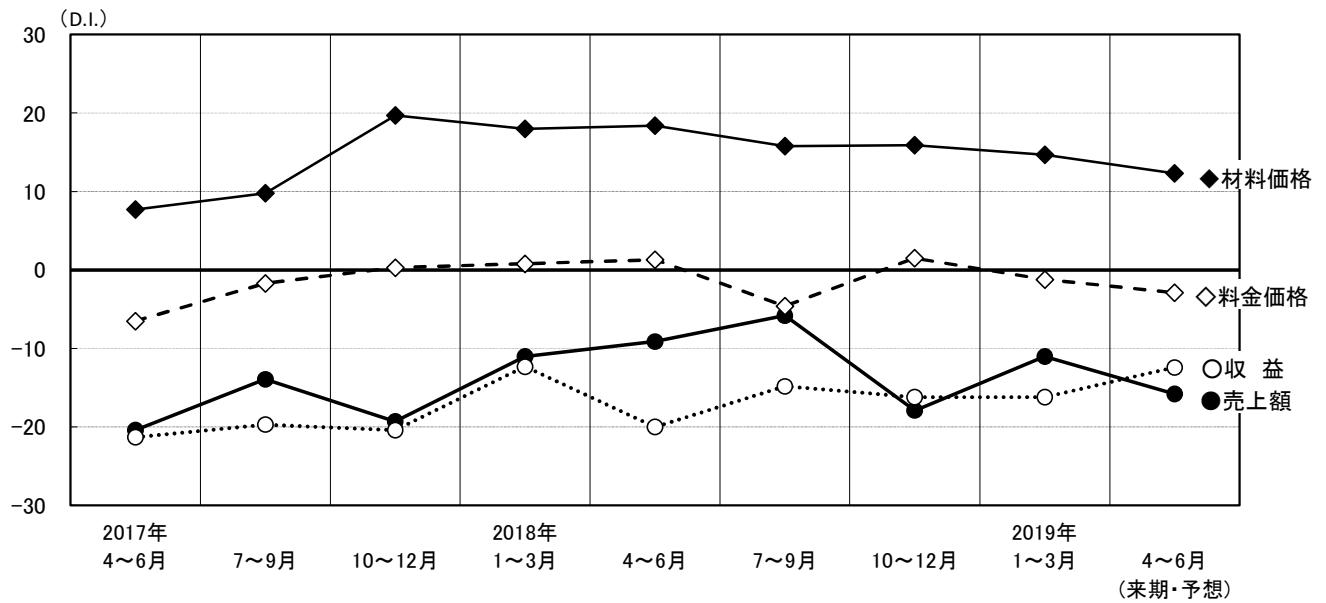
経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」（38.4%）が今期も最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（31.5%）、「人手不足」（28.8%）、「大企業との競争の激化」、「利幅の縮小」（各12.3%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（35.6%）が今期は最多となった。以下、「販路を広げる」（34.2%）、「宣伝・広告を強化する」、「人材を確保する」（各24.7%）、「提携先を見つける」（11.0%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

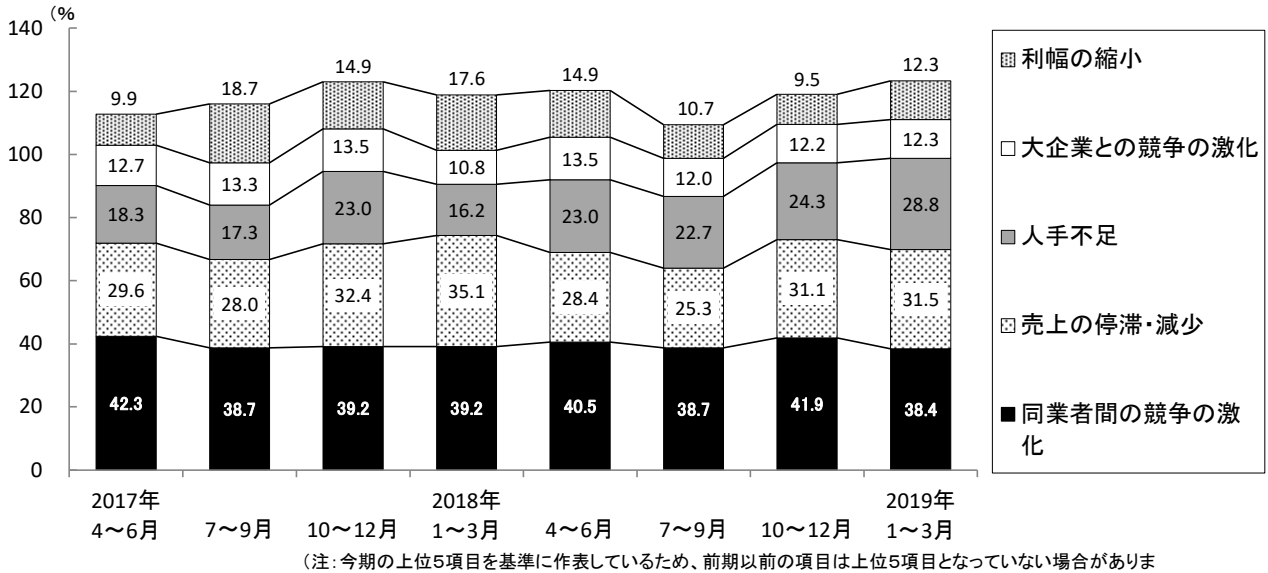


【サービス業】 売上額・収益・料金価格・材料価格の推移



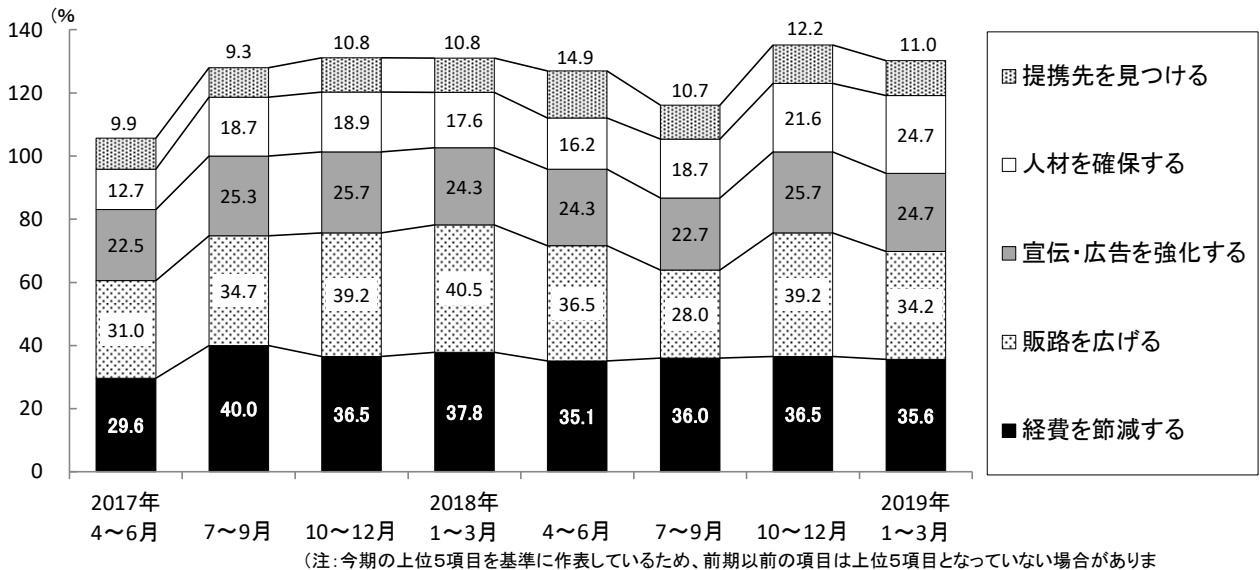
【サービス業】 経営上の問題点 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
同業者間の競争の激化	40.5%	同業者間の競争の激化	38.7%	同業者間の競争の激化	41.9%	同業者間の競争の激化	38.4%
売上の停滞・減少	28.4%	売上の停滞・減少	25.3%	売上の停滞・減少	31.1%	売上の停滞・減少	31.5%
人手不足	23.0%	人手不足	22.7%	人手不足	24.3%	人手不足	28.8%
利幅の縮小	14.9%	材料価格の上昇	13.3%	材料価格の上昇	12.2%	大企業との競争の激化	12.3%
大企業との競争の激化 材料価格の上昇	13.5%	大企業との競争の激化	12.0%	大企業との競争の激化		利幅の縮小	



【サービス業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
販路を広げる	36.5%	経費を節減する	36.0%	販路を広げる	39.2%	経費を節減する	35.6%
経費を節減する	35.1%	販路を広げる	28.0%	経費を節減する	36.5%	販路を広げる	34.2%
宣伝・広告を強化する	24.3%	宣伝・広告を強化する	22.7%	宣伝・広告を強化する	25.7%	宣伝・広告を強化する	24.7%
人材を確保する	16.2%	人材を確保する	18.7%	人材を確保する	21.6%	人材を確保する	
提携先を見つける	14.9%	技術力を強化する	12.0%	提携先を見つける	12.2%	提携先を見つける	11.0%



建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（8.4→11.5→8.7）は良好感がわずかに後退した。

売上額（16.0→18.5→12.9）は増加傾向がかなり後退した。受注残（10.3→16.2→11.3）は増勢が多少後退し、施工高（8.4→16.2→10.4）と収益（5.8→13.6→4.2）も増勢が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況（4.0予想）は良好感がさらに弱まると見ており、売上額（△4.9予想）と収益（△7.4予想）は増勢から減少に大きく転じ、受注残（△6.1予想）と施工高（△4.7予想）も増加から水面下に大きく落ち込むと予想している。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（△4.0→3.8→0.2）は上昇が一服し、材料価格（27.9→32.1→39.3）は上昇がかなり強まった。

在庫数量（△1.8→△1.9→△3.0）は適正範囲から不足感が現れてきた。

来期の見通しについて、請負価格（△5.4予想）は上昇から下降に落ち込むが、材料価格（31.7予想）は上昇傾向がかなり弱まると見ている。在庫数量（△3.1予想）は今期並の不足感が続くと予想している。

（３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△5.6→△3.0→△6.4）は厳しさが幾分増したが、借入難易度（△5.6→△5.5→0.0）は窮屈感が無くなった。

設備投資を「実施した」企業（16.4%→22.6%→16.9%）は前期から5.7ポイント減少した。

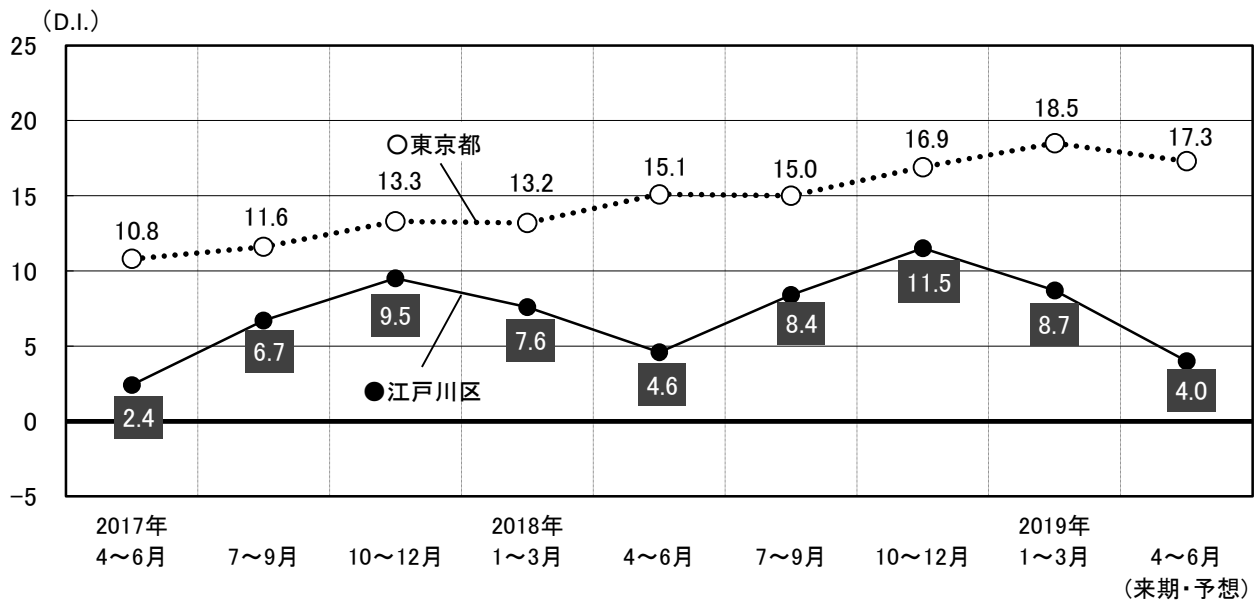
来期の見通しについて、資金繰り（△7.9予想）は今期並の厳しさが続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

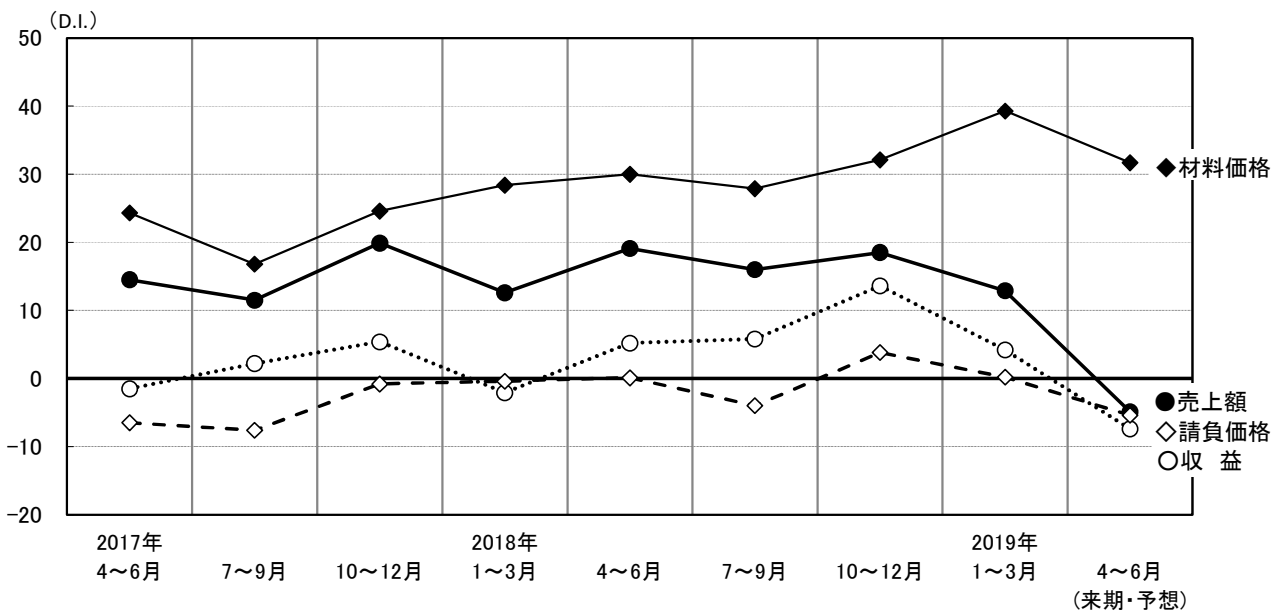
経営上の問題点は、「人手不足」（37.1%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（24.2%）、「売上の停滞・減少」（22.6%）、「利幅の縮小」（19.4%）、「下請の確保難」、「人件費の増加」（各17.7%）の順であった。

重点経営施策では、「人材を確保する」（43.5%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（38.7%）、「販路を広げる」（30.6%）、「情報力を強化する」（24.2%）、「技術力を高める」（22.6%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

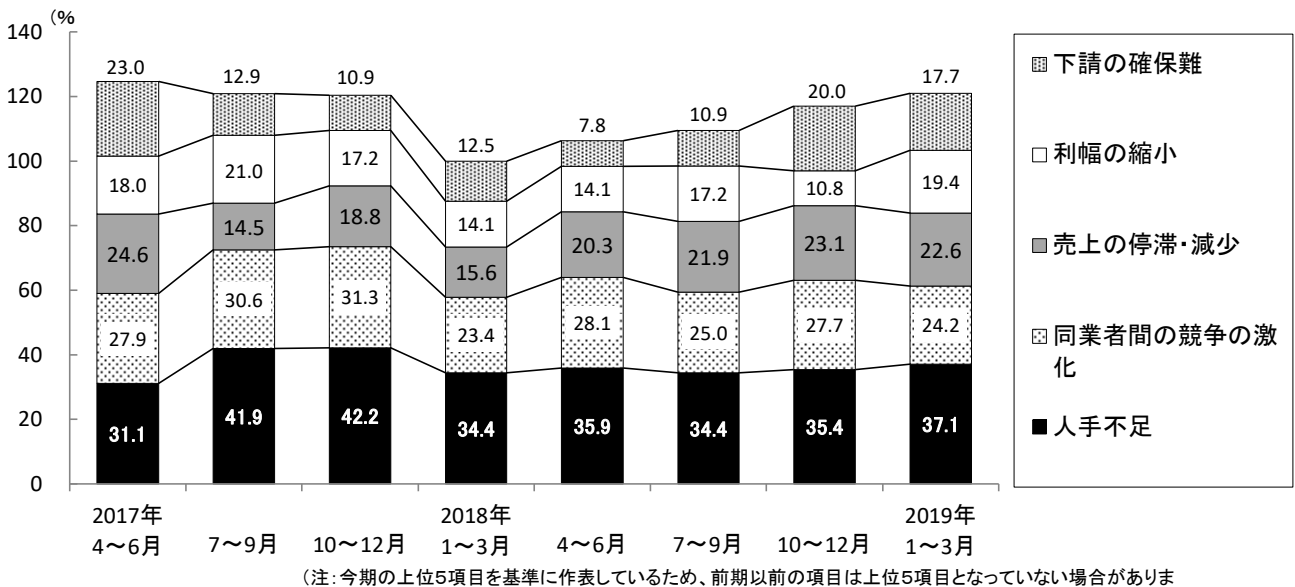


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



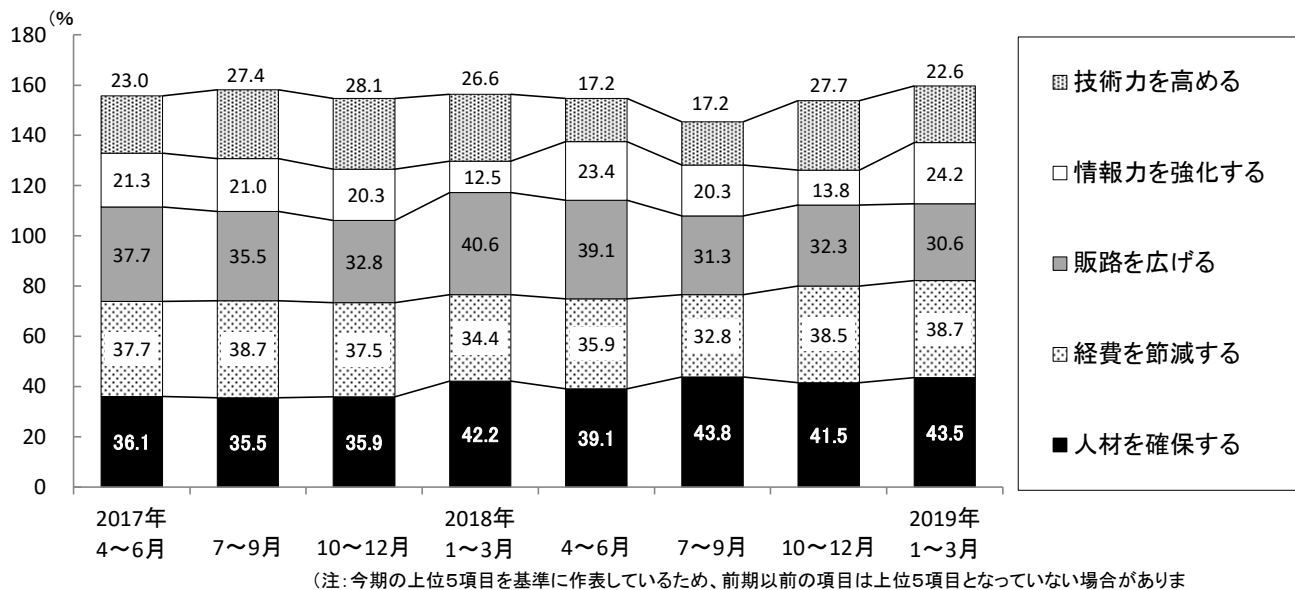
【建設業】 経営上の問題点 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
人手不足	35.9%	人手不足	34.4%	人手不足	35.4%	人手不足	37.1%
同業者間の競争の激化	28.1%	同業者間の競争の激化	25.0%	同業者間の競争の激化	27.7%	同業者間の競争の激化	24.2%
材料価格の上昇	20.3%	売上の停滞・減少	21.9%	材料価格の上昇	24.6%	売上の停滞・減少	22.6%
売上の停滞・減少		大手企業との競争の激化	20.3%	売上の停滞・減少	23.1%	利幅の縮小	19.4%
大手企業との競争の激化	17.2%	材料価格の上昇	18.8%	下請の確保難	20.0%	下請の確保難 人件費の増加	17.7%



【建設業】 重点経営施策 (複数回答)

2018年4～6月期		2018年7～9月期		2018年10～12月期		2019年1～3月期	
人材を確保する	39.1%	人材を確保する	43.8%	人材を確保する	41.5%	人材を確保する	43.5%
販路を広げる		経費を節減する	32.8%	経費を節減する	38.5%	経費を節減する	38.7%
経費を節減する	35.9%	販路を広げる	31.3%	販路を広げる	32.3%	販路を広げる	30.6%
情報力を強化する	23.4%	情報力を強化する	20.3%	技術力を高める	27.7%	情報力を強化する	24.2%
技術力を高める	17.2%	技術力を高める	17.2%	情報力を強化する	13.8%	技術力を高める	22.6%



調査員のコメント

- ・売上に波があり材料価格の高騰もあるため、収益が減少している。販路拡大に努め売上増加を狙いたい。(動力機械、4名)
- ・昨今の運送費の値上げが利益を圧迫しているほか、天候不順で仕入れも読めない。(米・穀類、10名)
- ・オリンピック工事の影響で施工業者(職人)の確保が困難になることが予想される。そのため他の業者に後れをとらないように、いち早く施工業者と連携をとることが重要と考えている。(建築、7名)
- ・不動産価格の高騰により買手が限定されており、仕入環境が非常に厳しい。売買が以前よりも減少している。(不動産、2名)

出典：『景況情報ガイド』都内中小企業景況調査結果 2019年1月～3月期より江戸川区分を抜粋

経営者から寄せられた声

[景況全般について]

- ・今年に入って横ばいになっている感じがする。(製造業)
- ・不況である。(卸売業、小売業)
- ・購入を控える動きは、依然として強い。消費できる方とできない方に完全に分かれている。(卸売業、小売業)
- ・中小零細企業ではリーマンショック以降景気が良くなったことはない。(建設業)
- ・景気の上昇は感じられない。むしろ悪化しているように思う。上昇しているのは一定以上の規模の企業だけと思われる。(建設業)

[受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・受注が若干減少傾向に感じる。(製造業)
- ・昨年の夏以降から問い合わせが多くなり、秋ごろから依頼が多くなった。今年も昨年以上に仕事が増えている。(製造業)
- ・1～2月は記録的な低い売り上げだった。(卸売業、小売業)
- ・今年に入り、増税を控え、駆け込みによるリフォーム相談がかなり多かった。売り上げも昨年同期より上々。(卸売業、小売業)
- ・1～3月期の工事受注は非常に多く、1月後半からは注文を受けられない状態となった。何とか受注案件を完了したが、社員が休みを取れない状況になってしまった。また、4月以降の受注も、例年になく多さとなっており、一部の注文に応じられない状況になっている。大型連休と言われているが、当社では休めない状況となっている。(建設業)
- ・年度末はそこそこ受注があったが、新年度の動きは悪い。(建設業)
- ・1月～3月は非常に忙しく売り上げも伸びたが、これは単に人手不足によるものであり、決して仕事量が多くなったり、景気が良くなったのではない。(建設業)
- ・仕事の量は昨年と変わっていない。来年は大型工事の依頼があるが、人手不足なので断る。(建設業)
- ・今年に入り気温差により体調を崩す方が多かった影響で客数は伸びた。(医療、福祉)
- ・漁港関連の公共事業は減少傾向にあり、今期は受注が落ち込んだ。(学術研究、専門・技術サービス業)
- ・IT系は比較的引き合いが多い気がする。(情報通信業)

[経営上の課題]

- ・製品を入れるための段ボールや運賃の値上がりのため、得意先への値上げ交渉に悩んでいる。(製造業)
- ・取り扱い商品の輸送方法が無く、発送が出来ない。(卸売業、小売業)
- ・当社の業務形態から外国人の雇用は難しい。また、社員の高齢化も有り、人手不足の状態は一層深刻になってきている。(建設業)
- ・売り上げの1割が法定福利費であり、利益など到底無理。(建設業)

[経営改善等に向けての取組み]

- ・相変わらず人手不足の状態が続いており、引き続き募集を行っている。(建設業)
- ・勉強して付加価値を高め、少しでも良い金額で受注出来るように頑張っている。(建設業)
- ・生産性向上。(医療、福祉)
- ・漁港の調査設計などから、災害を対象とした幅広い業務へのシフトを進めている。(学術研究、専門・技術サービス業)
- ・SNSを利用した発信にはかなり力を入れており、今後、営業に割く費用もネットを媒体としたものに大きくシフトしていく予定。(教育、学習支援業)

江戸川区の企業倒産動向

(2019年1月～3月)

2019年1～3月期の江戸川区の倒産件数は、前期比57.9%減の8件（前期19件）、負債総額は同86.0%減の1億91百万円（同13億67百万円）であった。業種別にみると、件数では建設業が4件で最も多かった。負債総額は建設業が1億円で最も多く、次いで情報通信業・運輸業が70百万円であった。

江戸川区の業種別倒産動向

(単位：件・百万円)

	前年同期 2018年1～3月		前期 2018年10～12月		今期 2019年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	0	0	1	70	0	0
卸売業	3	180	6	437	1	10
小売業	1	10	2	40	1	1
サービス業	0	0	3	60	1	10
建設業	2	30	5	720	4	100
不動産業	0	0	0	0	0	0
情報通信業・運輸業	2	173	1	30	1	70
宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0
その他	1	10	1	10	0	0
合計	9	403	19	1,367	8	191

東京都の企業倒産動向

(2019年1月～3月)

2019年1～3月期の東京都の倒産件数は、前期比7.1%減の368件（前期396件）、負債総額は同39.0%増の1,161億円（同835億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が81件で最も多く、次いで“卸売業”が71件であった。負債総額は“宿泊業、飲食サービス業”が481億円で最も多く、以下、“サービス業”が306億円、“卸売業”が124億円となった。

1. 概況

(単位：件・億円)

	前年同期 2018年 1～3月	前期 2018年 10～12月	今期 2019年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	345	396	368	-7.1%
負債総額	648	835	1,161	39.0%	79.2%

2. 原因別倒産動向

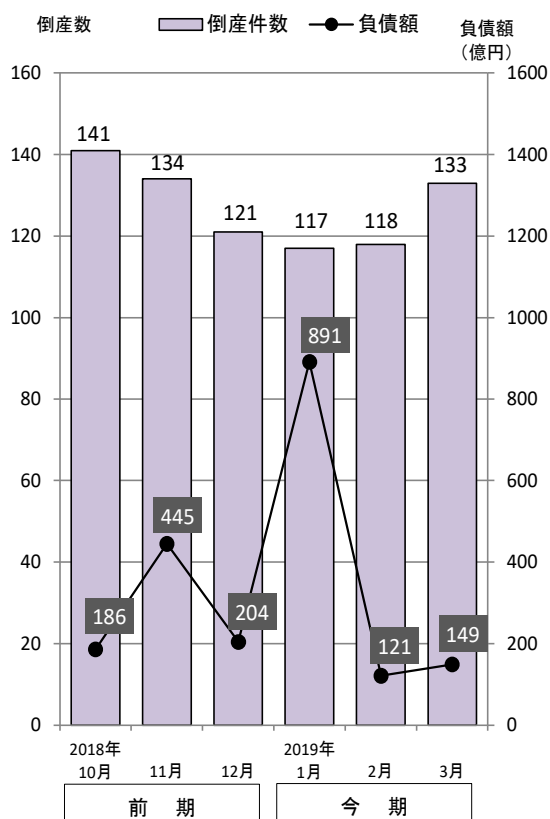
(単位：件)

	前年同期 2018年 1～3月	前期 2018年 10～12月	今期 2019年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	250	282	273	-3.2%
既往のしわよせ	32	42	26	-38.1%	-18.8%
売掛金等回収難 (不況型計)	3	2	2	0.0%	-
放漫経営	27	22	26	18.2%	-3.7%
過小資本	5	3	6	100.0%	20.0%
他社倒産の余波	19	30	22	-26.7%	15.8%
信用性低下	1	5	2	-60.0%	100.0%
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	0	0	-	-
その他	7	10	11	10.0%	57.1%
合計	345	396	368	-7.1%	6.7%

3. 業種別倒産動向

(単位：件・億円)

	前年同期 2018年1～3月		前期 2018年10～12月		今期 2019年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	34	63	32	117	17	20
卸売業	78	94	72	211	71	124
小売業	34	44	40	99	40	27
サービス業	61	74	104	127	81	306
建設業	29	33	41	60	31	53
不動産業	18	57	15	19	17	49
情報通信業・運輸業	53	128	55	48	55	45
宿泊業、飲食サービス業	26	20	22	147	42	481
その他	12	136	15	6	14	57
合計	345	649	396	835	368	1,161



特別調査 「中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について」

(2019年3月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=486事業所)の回答を集計したのですが、業種別の分析については企業数の少ない「卸売業」「不動産業」を除いた4業種についてのみ行っています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本調査結果の特徴	①インターネット・電子メールの利用状況	i. インターネットの利用『利用している』55.4%、『利用していない』43.4% ii. 電子メールの利用『利用している』52.3%、『利用していない』45.0%
	②インターネットバンキングの利用状況	「利用している」35.2%、『利用していない』66.8%
	③キャッシュレスについて考えている対応	「既に導入している」5.6%、 『導入予定である(検討している・検討したい)』17.0%、 『導入する必要がない(関心がない)』49.5%、「わからない」27.8%
	④活用しているキャッシュレス支払手段	「口座振替(自動引落)サービス」21.1%、「クレジットカード」18.8%、 「電子記録債権(でんさい等)」5.8%、「電子マネー(交通系・流通系)」3.7%
	⑤活用したいキャッシュレス支払手段	「クレジットカード」14.2%、「口座振替(自動引落)サービス」13.2%、 「スマートフォンによるQRコード決済」9.2%、「電子記録債権(でんさい等)」7.9%

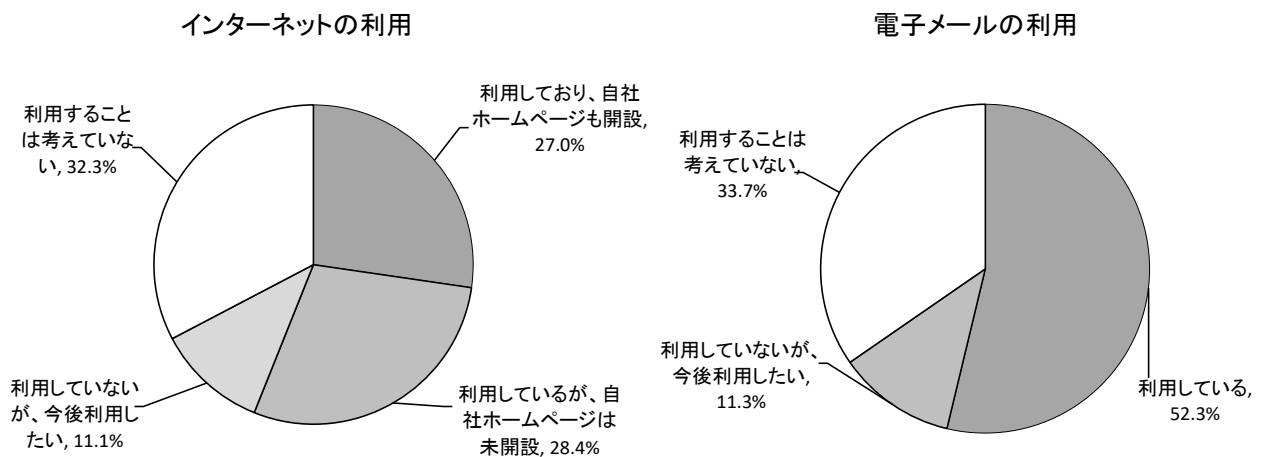
問1. インターネット・電子メールの利用状況

区内の中小企業を対象に事業場の情報収集・情報発信等においてインターネットの利用状況を調査した。

まず、インターネットの利用については、「利用しており、自社ホームページも開設している」と「利用しているが、自社のホームページは未開設」を合わせた『利用している』企業が 55.4%で過半数を占めた。「利用していないが、今後利用したい」と「利用することは考えていない」を合わせた『利用していない』企業が 43.4%であった。

次に、電子メールの利用については、「利用している」企業が 52.3%と過半数を占め、「利用していないが、今後利用したい」と「利用することは考えていない」を合わせた『利用していない』企業が 45.0%であった。

業種別に見ると、インターネットと電子メールともに、『利用している』は“建設業”(インターネット 74.6%:電子メール 72.9%)が最も多い割合であった。



※回答により 100%にならないこともあります。

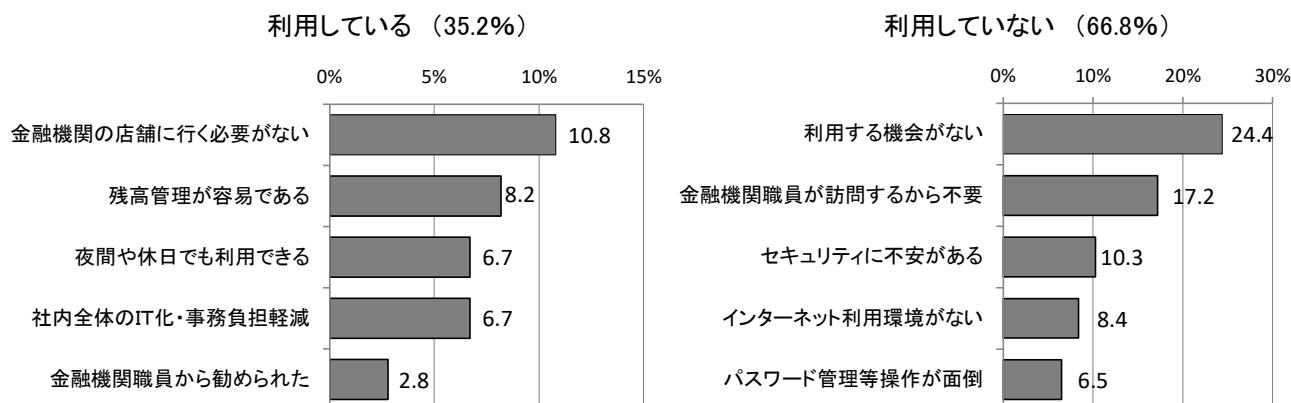
問2. インターネットバンキングの利用状況

インターネットバンキングの利用状況について調査したところ、『利用している』は 35.2%で、『利用していない』が 66.8%であった。

利用している理由としては、「金融機関の店舗に行く必要がない」が 10.8%で最も多く、次いで「残高管理が容易である」(8.2%)、「夜間や休日でも利用できる」「社内全体のIT化・事務負担軽減」(ともに 6.7%)であった。

利用していない理由としては、「利用する機会がない」が 24.4%で最も多く、次いで「金融機関職員が訪問するから不要」(17.2%)、「セキュリティに不安がある」(10.3%)、「インターネット利用環境がない」(8.4%)であった。

業種別に見ると、『利用している』は、“建設業”が45.5%で最も高い割合であった。



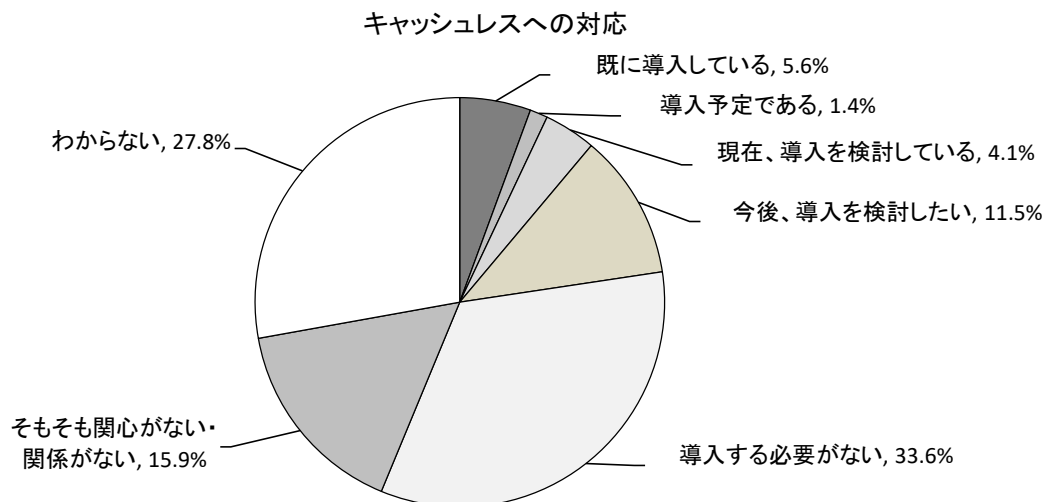
※回答により 100%にならないこともあります。

問3. キャッシュレスへの対応

2019年10月予定の消費税値上げにあたって、政府は対象店でキャッシュレス決済にすればポイントを還元することを検討しており、こうしたキャッシュレス決済の推進に対して、どのような対応を考えているか調査した。

「既に導入している」企業は5.6%であったが、「導入予定である」、「現在、導入を検討している」、「今後、導入を検討したい」を合わせた『キャッシュレス決済に前向き』な企業は17.0%であった。反対に「導入する必要がない」と否定的な考えが33.6%、「そもそも関心がない・関係がない」が15.9%であり、合わせて49.5%の企業が現状の決済方法で十分と考えており、キャッシュレス決済には後ろ向きであった。

業種別に見ると、「既に導入している」は“小売業”が8.6%で最も高く、『キャッシュレス決済に前向き』も“小売業”が29.1%で最も高い割合であった。

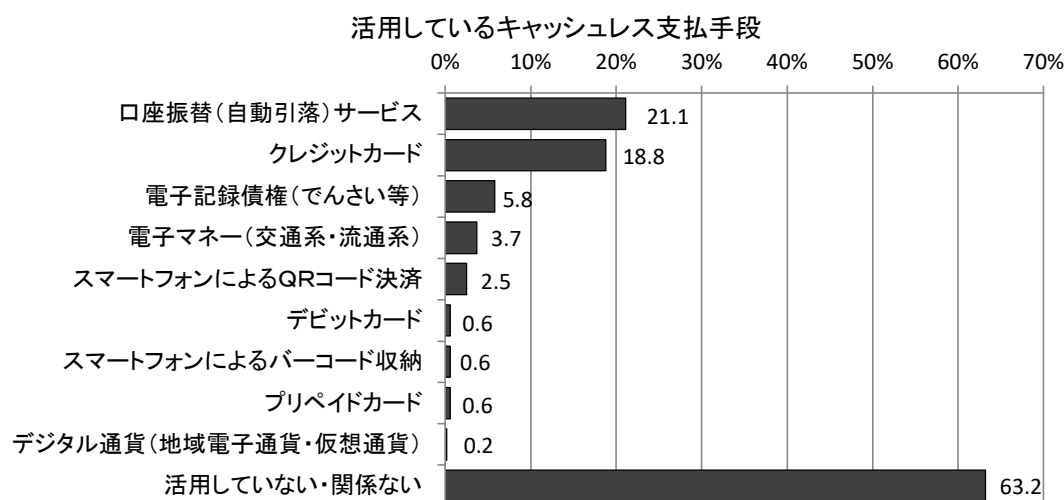


※回答により 100%にならないこともあります。

問4. 活用しているキャッシュレス支払手段

取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用しているか最大3項目までうかがったところ、最も多かったのは「口座振替(自動引落)サービス」(21.1%)であり、次いで「クレジットカード」(18.8%)、「電子記録債権(でんさい等)」(5.8%)、「電子マネー(交通系・流通系)」(3.7%)であった。一方、「活用していない・関係ない」が全体の63.2%を占めており、現状では中小企業の過半数がキャッシュレス決済を活用していない。

業種別に見ると、「口座振替(自動引落)サービス」は“建設業”(31.6%)で最も高く、「クレジットカード」は“小売業”(26.6%)で最も高い割合であった。また、「活用していない・関係ない」は“サービス業”(70.0%)で最も高い割合であった。

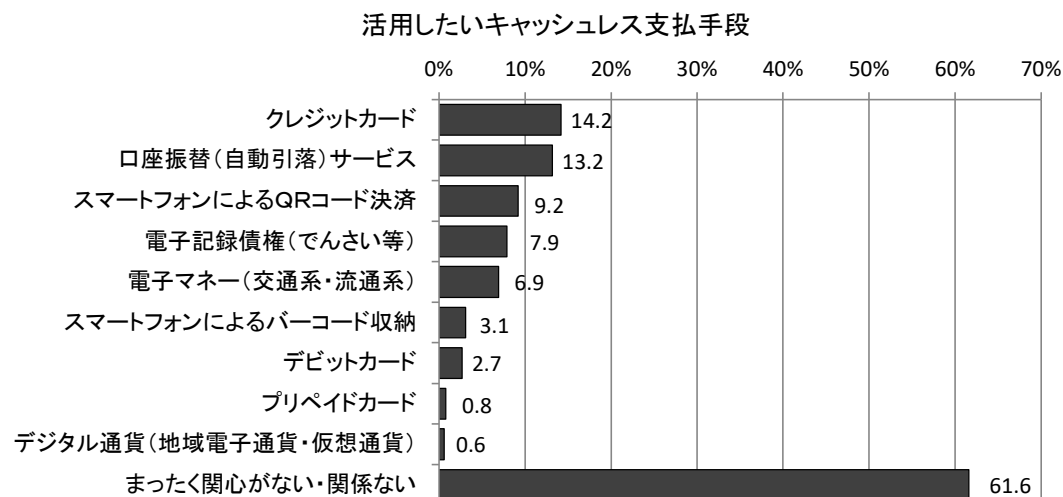


※回答により 100%にならないこともあります。

問5. 活用したいキャッシュレス支払手段

今後も活用していきたい、もしくは活用を検討しているキャッシュレス支払手段についても最大3項目までうかがったところ、最も多かったのは「クレジットカード」(14.2%)であり、次いで「口座振替(自動引落)サービス」(13.2%)、「スマートフォンによるQRコード決済」(9.2%)、「電子記録債権(でんさい等)」(7.9%)であった。一方、「まったく関心がない・関係ない」が全体の61.6%を占めており、キャッシュレス決済に対する中小企業の期待はそれほど高まっていない。

業種別に見ると、「クレジットカード」は“サービス業”(21.7%)で最も高く、「口座振替(自動引落)サービス」は“建設業”(21.1%)で最も高い割合であった。また、「まったく関心がない・関係ない」は“製造業”(65.2%)で最も高い割合であった。



※回答により 100%にならないこともあります。

		問1 インターネットの利用状況								
		インターネットの利用					電子メールの利用			
業種	回答数	利用しており、自社ホームページも開設	ホームページは未開設	利用しているが、自社ホームページは未開設	利用したい	利用していないが、今後利用したい	利用している	利用していないが、今後利用したい	利用している	利用していないが、今後利用したい
		27.0	28.4	11.1	32.3	52.3	11.3	33.7		
全業種	486	27.0	28.4	11.1	32.3	52.3	11.3	33.7		
製造業	198	21.2	34.8	9.6	32.8	54.5	10.1	33.8		
従業者規模										
1人～4人	101	5.9	34.7	10.9	46.5	38.6	12.9	46.5		
5人～9人	50	28.0	36.0	12.0	24.0	62.0	12.0	24.0		
10人～19人	27	37.0	40.7	7.4	11.1	74.1	3.7	22.2		
20人～29人	11	45.5	36.4	-	18.2	90.9	-	9.1		
30人～39人	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-		
40人～49人	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-		
50人～99人	6	83.3	-	-	16.7	83.3	-	16.7		
100人～199人	1	-	100.0	-	-	100.0	-	-		
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地										
問屋・商社	13	30.8	23.1	23.1	15.4	61.5	23.1	15.4		
大メーカー	31	32.3	35.5	3.2	29.0	77.4	6.5	12.9		
中小メーカー・仲間業者	116	19.8	38.8	8.6	31.0	51.7	10.3	36.2		
小売業者	21	4.8	33.3	14.3	47.6	42.9	9.5	47.6		
最終需要家	14	14.3	14.3	14.3	57.1	28.6	7.1	64.3		
業況										
良い	31	54.8	25.8	9.7	9.7	83.9	6.5	6.5		
普通	120	15.0	39.2	5.0	40.0	50.0	9.2	40.0		
悪い	47	14.9	29.8	21.3	29.8	46.8	14.9	36.2		
小売業	94	21.3	20.2	16.0	41.5	31.9	19.1	43.6		
従業者規模										
1人～4人	74	16.2	17.6	17.6	47.3	28.4	17.6	48.6		
5人～9人	14	28.6	28.6	14.3	28.6	42.9	21.4	28.6		
10人～19人	3	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7	-		
20人～29人	2	100.0	-	-	-	50.0	-	50.0		
30人～39人	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-		
40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-		
50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-		
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-		
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地										
駅周辺商店街	13	38.5	38.5	15.4	7.7	38.5	30.8	23.1		
住宅地隣接商店街	50	18.0	22.0	22.0	38.0	28.0	22.0	44.0		
団地内商店街	5	20.0	-	-	60.0	-	20.0	80.0		
その他	23	21.7	13.0	8.7	56.5	47.8	8.7	39.1		
業況										
良い	4	50.0	50.0	-	-	75.0	25.0	-		
普通	58	20.7	17.2	19.0	41.4	27.6	24.1	43.1		
悪い	31	19.4	19.4	12.9	48.4	35.5	6.5	51.6		
サービス業	70	24.3	14.3	15.7	42.9	42.9	14.3	41.4		
従業者規模										
1人～4人	46	8.7	8.7	21.7	56.5	26.1	15.2	58.7		
5人～9人	9	33.3	33.3	11.1	22.2	77.8	11.1	11.1		
10人～19人	5	80.0	20.0	-	-	100.0	-	-		
20人～29人	4	50.0	50.0	-	-	50.0	25.0	-		
30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-		
40人～49人	3	66.7	-	-	33.3	100.0	-	-		
50人～99人	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-	50.0		
100人～199人	1	100.0	-	-	-	100.0	-	-		
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-		
業況										
良い	9	66.7	11.1	-	22.2	55.6	22.2	11.1		
普通	47	14.9	19.1	21.3	44.7	42.6	14.9	42.6		
悪い	14	28.6	-	7.1	50.0	35.7	7.1	57.1		
建設業	59	33.9	40.7	8.5	16.9	72.9	5.1	20.3		
従業者規模										
1人～4人	20	15.0	50.0	15.0	20.0	50.0	15.0	30.0		
5人～9人	18	27.8	38.9	11.1	22.2	66.7	-	33.3		
10人～19人	9	44.4	44.4	-	11.1	100.0	-	-		
20人～29人	8	62.5	37.5	-	-	100.0	-	-		
30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-		
40人～49人	2	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-		
50人～99人	2	100.0	-	-	-	100.0	-	-		
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-		
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地										
官公庁	2	-	50.0	-	50.0	100.0	-	-		
大企業	12	66.7	25.0	-	8.3	91.7	-	8.3		
中小企業	30	30.0	43.3	6.7	20.0	76.7	3.3	16.7		
個人	11	27.3	45.5	18.2	9.1	54.5	18.2	27.3		
業況										
良い	17	52.9	23.5	5.9	17.6	94.1	-	5.9		
普通	34	23.5	47.1	11.8	17.6	67.6	5.9	23.5		
悪い	8	37.5	50.0	-	12.5	50.0	12.5	37.5		

		問2 インターネットバンキングの利用状況												
		利用している					利用していない							
業種	回答数	夜間や休日でも利用できる	負担軽減	社内全体のIT化・事務	残高管理が容易である	金融機関職員から勧められた	金融機関の店舗に行く必要がない	金融機関職員が訪問するから不要	金融機関職員が訪問する	面倒	パスワード管理等操作が	セキュリティに不安がある	利用する機会がない	インターネット利用環境がない
		6.7	6.7	8.2	2.8	10.8	17.2	6.5	10.3	24.4	8.4			
全業種	464	6.7	6.7	8.2	2.8	10.8	17.2	6.5	10.3	24.4	8.4			
製造業	192	2.6	5.7	7.8	4.2	13.5	20.3	6.8	12.0	21.9	6.8			
従業者規模														
1人～4人	97	2.1	5.2	4.1	1.0	4.1	22.7	8.2	10.3	34.0	10.3			
5人～9人	48	4.2	2.1	8.3	4.2	18.8	20.8	10.4	16.7	12.5	2.1			
10人～19人	27	3.7	11.1	14.8	11.1	18.5	18.5	-	11.1	7.4	7.4			
20人～29人	11	-	18.2	-	18.2	27.3	18.2	-	9.1	9.1	-			
30人～39人	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-			
40人～49人	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-			
50人～99人	6	-	-	33.3	-	50.0	-	-	16.7	-	-			
100人～199人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-			
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
形態・立地														
問屋・商社	12	-	8.3	33.3	8.3	16.7	16.7	-	-	16.7	-			
大メーカー	31	-	16.1	-	3.2	32.3	16.1	-	9.7	16.1	12.9			
中小メーカー・仲間業者	113	3.5	3.5	8.8	4.4	9.7	23.0	8.0	13.3	20.4	6.2			
小売業者	19	5.3	-	-	5.3	-	10.5	15.8	21.1	31.6	10.5			
最終需要家	14	-	7.1	-	-	14.3	28.6	7.1	-	42.9	-			
業況														
良い	31	3.2	19.4	9.7	6.5	25.8	12.9	3.2	12.9	6.5	3.2			
普通	116	1.7	3.4	9.5	1.7	10.3	23.3	7.8	13.8	22.4	7.8			
悪い	45	4.4	2.2	2.2	8.9	13.3	17.8	6.7	6.7	31.1	6.7			
小売業	87	8.0	3.4	4.6	1.1	6.9	20.7	4.6	4.6	29.9	18.4			
従業者規模														
1人～4人	67	9.0	-	1.5	-	6.0	22.4	4.5	6.0	31.3	22.4			
5人～9人	14	7.1	7.1	7.1	-	14.3	14.3	7.1	-	35.7	7.1			
10人～19人	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-			
20人～29人	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-			
30人～39人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-			
40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
形態・立地														
駅周辺商店街	13	7.7	-	7.7	7.7	-	38.5	-	7.7	23.1	7.7			
住宅地隣接商店街	46	8.7	4.3	4.3	-	8.7	17.4	6.5	4.3	30.4	17.4			
団地内商店街	4	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-			
その他	21	9.5	4.8	4.8	-	9.5	14.3	4.8	4.8	28.6	23.8			
業況														
良い	4	-	-	25.0	-	25.0	-	-	-	50.0	-			
普通	53	3.8	5.7	5.7	1.9	7.5	24.5	3.8	5.7	26.4	17.0			
悪い	29	13.8	-	-	-	3.4	17.2	6.9	3.4					

		問3 キャッシュレスについて考えている対応						
回答数		既に導入している	導入予定である	現在、導入を検討している	今後、導入を検討したい	導入する必要がない	係りもない	そもそも関心がない・関わらない
全業種	485	5.6	1.4	4.1	11.5	33.6	15.9	27.8
製造業	199	5.0	1.0	2.5	7.5	43.2	19.1	21.6
従業者規模	1人～4人	102	1.0	1.0	3.9	42.2	23.5	28.4
	5人～9人	50	10.0	2.0	4.0	50.0	14.0	16.0
	10人～19人	27	3.7	3.7	22.2	44.4	11.1	11.1
	20人～29人	11	9.1	9.1	9.1	36.4	9.1	27.3
	30人～39人	1	100.0	-	-	-	-	-
	40人～49人	1	-	-	-	100.0	-	-
	50人～99人	6	16.7	-	16.7	16.7	50.0	-
	100人～199人	1	-	-	100.0	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	
形態・立地	問屋・商社	13	15.4	-	7.7	30.8	30.8	7.7
	大メーカー	31	9.7	-	3.2	6.5	41.9	16.1
	中小メーカー・仲間業者	117	2.6	0.9	2.6	9.4	45.3	15.4
	小売業者	21	-	-	4.8	42.9	28.6	23.8
	最終需要家	14	14.3	7.1	-	35.7	28.6	14.3
業況	良い	31	12.9	3.2	-	9.7	54.8	12.9
	普通	121	4.1	-	3.3	6.6	42.1	19.0
	悪い	47	2.1	2.1	2.1	8.5	38.3	23.4
小売業	93	8.6	2.2	9.7	17.2	20.4	11.8	30.1
従業者規模	1人～4人	74	5.4	2.7	9.5	14.9	25.7	13.5
	5人～9人	13	23.1	-	7.7	30.8	-	7.7
	10人～19人	3	-	-	33.3	33.3	-	33.3
	20人～29人	2	-	-	-	-	-	100.0
	30人～39人	1	100.0	-	-	-	-	-
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-
	50人～99人	0	-	-	-	-	-	-
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	
形態・立地	駅周辺商店街	13	7.7	7.7	-	23.1	23.1	38.5
	住宅地隣接商店街	50	12.0	-	10.0	14.0	26.0	10.0
	団地内商店街	5	-	-	-	20.0	-	60.0
	その他	22	4.5	4.5	13.6	22.7	13.6	9.1
業況	良い	4	25.0	-	-	50.0	-	25.0
	普通	57	10.5	1.8	8.8	12.3	17.5	12.3
	悪い	31	3.2	3.2	12.9	22.6	25.8	9.7
サービス業	70	5.7	1.4	5.7	12.9	22.9	17.1	34.3
従業者規模	1人～4人	46	2.2	-	6.5	17.4	21.7	19.6
	5人～9人	9	-	-	11.1	44.4	-	44.4
	10人～19人	5	20.0	20.0	-	20.0	-	40.0
	20人～29人	4	-	-	-	25.0	25.0	50.0
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-
	40人～49人	3	-	-	33.3	-	-	66.7
	50人～99人	2	50.0	-	-	-	-	50.0
	100人～199人	1	100.0	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	
業況	良い	9	33.3	11.1	11.1	-	11.1	22.2
	普通	47	2.1	-	6.4	17.0	27.7	19.1
	悪い	14	-	-	-	7.1	14.3	7.1
建設業	58	1.7	1.7	1.7	8.6	34.5	15.5	36.2
従業者規模	1人～4人	19	-	5.3	-	5.3	21.1	-
	5人～9人	18	-	-	-	5.6	50.0	22.2
	10人～19人	9	11.1	-	-	11.1	22.2	33.3
	20人～29人	8	-	-	12.5	25.0	25.0	12.5
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-
	40人～49人	2	-	-	-	50.0	50.0	-
	50人～99人	2	-	-	-	100.0	-	-
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	
形態・立地	官公庁	1	-	-	-	100.0	-	-
	大企業	12	8.3	8.3	8.3	25.0	25.0	16.7
	中小企業	30	-	-	-	3.3	40.0	20.0
	個人	11	-	-	-	-	36.4	-
業況	良い	17	-	-	-	17.6	41.2	17.6
	普通	33	-	3.0	3.0	3.0	36.4	18.2
	悪い	8	12.5	-	-	12.5	12.5	-

		問4 活用しているキャッシュレス支払手段										
回答数		口座振替（自動引落）	クレジットカード	電子記録債権（でんさい等）	電子マネー（交通系・流通系）	スマートフォンによるQRコード決済	デビットカード	スマートフォンによるバーコード収納	プリペイドカード	デジタル通貨（地域電子通貨・仮想通貨）	活用していない・関係ない	
全業種	484	21.1	18.8	5.8	3.7	2.5	0.6	0.6	0.6	0.2	63.2	
製造業	199	24.1	15.1	8.5	2.5	0.5	0.5	0.5	-	0.5	65.8	
従業者規模	1人～4人	102	11.8	11.8	4.9	1.0	-	1.0	-	-	79.4	
	5人～9人	50	38.0	18.0	10.0	4.0	-	2.0	-	2.0	54.0	
	10人～19人	27	40.7	14.8	11.1	7.4	-	-	-	-	51.9	
	20人～29人	11	27.3	27.3	-	-	-	-	-	-	54.5	
	30人～39人	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
	50人～99人	6	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-	50.0	
	100人～199人	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地	問屋・商社	13	23.1	15.4	7.7	-	7.7	-	-	-	53.8	
	大メーカー	31	32.3	22.6	12.9	3.2	-	-	-	3.2	58.1	
	中小メーカー・仲間業者	117	23.1	15.4	8.5	3.4	-	0.9	0.9	-	66.7	
	小売業者	21	14.3	4.8	-	-	-	-	-	-	81.0	
	最終需要家	14	28.6	14.3	7.1	-	-	-	-	-	64.3	
業況	良い	31	35.5	22.6	16.1	3.2	-	-	-	-	48.4	
	普通	121	22.3	11.6	5.8	1.7	0.8	-	0.8	-	70.2	
	悪い	47	21.3	19.1	10.6	4.3	-	2.1	-	2.1	66.0	
小売業	94	6.4	26.6	2.1	4.3	7.4	-	2.1	1.1	63.8		
従業者規模	1人～4人	74	6.8	17.6	1.4	2.7	8.1	-	2.7	1.4	70.3	
	5人～9人	14	-	57.1	-	7.1	7.1	-	-	-	42.9	
	10人～19人	3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	
	20人～29人	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	
	30人～39人	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地	駅周辺商店街	13	-	38.5	7.7	-	-	-	-	-	61.5	
	住宅地隣接商店街	50	10.0	28.0	2.0	6.0	10.0	-	2.0	-	60.0	
	団地内商店街	5	-	20.0	-	-	-	-	-	-	80.0	
	その他	23	4.3	21.7	-	4.3	8.7	-	4.3	4.3	65.2	
業況	良い	4	-	75.0	-	50.0	-	-	-	25.0	25.0	
	普通	58	5.2	29.3	3.4	1.7	3.4	-	1.7	-	65.5	
	悪い	31	9.7	16.1	-	3.2	16.1	-	3.2	-	64.5	
サービス業	70	15.7	20.0	2.9	2.9	4.3	1.4	-	-	70.0		
従業者規模	1人～4人	46	8.7	13.0	-	2.2	4.3	-	-	-	80.4	
	5人～9人	9	44.4	11.1	-	11.1	-	-	-	-	55.6	
	10人～19人	5	20.0	60.0	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	
	20人～29人	4	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	50人～99人	2	-	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	
	100人～199人	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
業況	良い	9	33.3	66.7	-	-	11.1	-	-	-	33.3	
	普通	47	12.8	14.9	4.3	4.3	4.3	2.1	-	-	74.5	
	悪い	14	14.3	7.1	-	-	-	-	-	-	78.6	
建設業	57	31.6	17.5	7.0	5.3	-	-	-	3.5	-	54.4	
従業者規模	1人～4人	18	22.2	16.7	-	5.6	-	-	-	-	66.7	
	5人～9人	18	22.2	11.1	5.6	5.6	-	-	-	-	66.7	
	10人～19人	9	44.4	22.2	22.2	-	-	-	-	11.1	44.4	
	20人～29人	8	62.5	25.0	-	-	-	-	-	12.5	25.0	
	30人～39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人～49人	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	
	50人～99人	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
形態・立地	官公庁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	大企業	12	41.7	25.0	16.7	16.7	-	-	-	8.3	33.3	
	中小企業	29	24.1	20.7	6.9	3.4	-	-	-	3.4	58.6	
	個人	11	36.4	-	-	-	-	-	-	-	63.6	
業況	良い	17	29.4	11.8	5.9	-	-	-	-	5.9	70.6	
	普通	32	25.0	21.9	6.3	9.4	-	-	-	3.1	50.0	
	悪い	8	62.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	37.5	

		問5 活用したいキャッシュレス支払手段											
		回 答 数	クレ ジ ット カ ー ド	サ ー ビ ス 口 座 振 替 (自 動 引 落)	QR コ ー ド 決 済	ス マ ー ト フ ォ ン に よ る	電 子 記 録 債 権 (で ん さ い 等)	電 子 マ ネ ー (交 通 系 ・ 流 通 系)	ス マ ー ト フ ォ ン に よ る バ ー コ ー ド 取 納	デ ビ ット カ ー ド	プ リ ペ イ ド カ ー ド	デ ジ タル 通 貨 (地 域 電 子 通 貨 ・ 仮 想 通 貨)	ま っ た く 関 心 が な い ・ 関 係 な い
全	業	479	14.2	13.2	9.2	7.9	6.9	3.1	2.7	0.8	0.6	61.6	
製	造	198	9.1	16.2	4.0	13.1	5.1	0.5	1.0	-	1.0	65.2	
	従業者規模												
	1人~4人	102	8.8	12.7	2.9	5.9	5.9	-	1.0	-	1.0	73.5	
	5人~9人	49	6.1	20.4	8.2	16.3	4.1	2.0	2.0	-	2.0	59.2	
	10人~19人	27	7.4	18.5	3.7	22.2	3.7	-	-	-	-	63.0	
	20人~29人	11	27.3	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	63.6	
	30人~39人	1	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人~99人	6	-	16.7	-	66.7	16.7	-	-	-	-	16.7	
	100人~199人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地												
	間屋・商社	12	16.7	-	-	8.3	-	-	-	-	-	75.0	
	大メーカー	31	9.7	22.6	-	29.0	-	-	-	-	3.2	54.8	
	中小メーカー・仲間業者	117	7.7	17.1	6.8	10.3	6.0	0.9	1.7	-	0.9	64.1	
	小売業者	21	14.3	4.8	-	9.5	14.3	-	-	-	-	71.4	
	最終需要家	14	7.1	21.4	-	14.3	-	-	-	-	-	78.6	
	業況												
	良い	31	9.7	22.6	3.2	29.0	3.2	-	-	-	-	51.6	
	普通	121	7.4	11.6	4.1	12.4	5.8	0.8	0.8	-	-	70.2	
	悪い	46	13.0	23.9	4.3	4.3	4.3	-	2.2	-	4.3	60.9	
小	売	94	18.1	4.3	21.3	1.1	11.7	8.5	4.3	1.1	-	60.6	
	従業者規模												
	1人~4人	74	12.2	2.7	18.9	-	10.8	8.1	1.4	-	-	67.6	
	5人~9人	14	50.0	7.1	42.9	-	14.3	-	7.1	7.1	-	35.7	
	10人~19人	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	
	20人~29人	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
	30人~39人	1	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	
	40人~49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50人~99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地												
	駅周辺商店街	13	30.8	-	30.8	7.7	15.4	-	-	-	-	53.8	
	住宅地隣接商店街	50	16.0	4.0	18.0	-	14.0	6.0	6.0	2.0	-	64.0	
	団地内商店街	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	
	その他	23	13.0	8.7	30.4	-	8.7	21.7	4.3	-	-	52.2	
	業況												
	良い	4	50.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	
	普通	58	15.5	5.2	15.5	1.7	8.6	3.4	5.2	1.7	-	65.5	
	悪い	31	19.4	3.2	32.3	-	12.9	16.1	3.2	-	-	58.1	
サ	ー ビ ス 業	69	21.7	5.8	14.5	1.4	13.0	4.3	4.3	2.9	-	56.5	
	従業者規模												
	1人~4人	46	26.1	4.3	15.2	-	17.4	2.2	2.2	2.2	-	56.5	
	5人~9人	9	-	11.1	11.1	11.1	-	22.2	-	11.1	-	55.6	
	10人~19人	4	50.0	-	25.0	-	-	-	50.0	-	-	25.0	
	20人~29人	4	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	75.0	
	30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	50人~99人	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	
	100人~199人	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	業況												
	良い	9	44.4	22.2	22.2	-	22.2	-	22.2	-	-	33.3	
	普通	47	19.1	2.1	17.0	2.1	12.8	6.4	2.1	4.3	-	55.3	
	悪い	13	15.4	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-	76.9	
建	設 業	57	12.3	21.1	3.5	10.5	1.8	3.5	1.8	1.8	1.8	59.6	
	従業者規模												
	1人~4人	18	5.6	11.1	11.1	5.6	5.6	11.1	-	-	-	66.7	
	5人~9人	18	5.6	11.1	-	-	-	-	-	-	5.6	77.8	
	10人~19人	9	22.2	33.3	-	44.4	-	-	-	-	-	44.4	
	20人~29人	8	25.0	50.0	-	-	-	-	-	12.5	-	37.5	
	30人~39人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40人~49人	2	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	
	50人~99人	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	形態・立地												
	官公庁	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	大企業	12	33.3	41.7	8.3	33.3	-	8.3	8.3	8.3	-	16.7	
	中小企業	29	10.3	17.2	-	6.9	-	-	-	-	3.4	65.5	
	個人	11	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-	81.8	
	業況												
	良い	17	-	29.4	-	11.8	-	-	-	-	-	70.6	
	普通	32	18.8	6.3	6.3	9.4	3.1	6.3	3.1	3.1	3.1	59.4	
	悪い	8	12.5	62.5	-	12.5	-	-	-	-	-	37.5	

東京都全体の中小企業の景況 (2019年1月～3月期)

業況は全般的にやや悪化

～ 建設業は良好感が続く ～

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-2.9(前期は-2.0)と前期に比べ0.9ポイント低下した。業種別に見ると、建設業、不動産業で前期並の良好感が続いているが、他の業種は全て好調感が弱まり改善傾向が一步後退し足踏みした。

来期は、製造業・卸売業・小売業・サービス業においては再び改善が見られると期待している。反面、建設業は若干良好感が弱まり、不動産業は好調度が低下すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-0.5	-3.2	-2.7	-1.0	2.2
卸売業	-5.2	-5.7	-0.5	-4.8	0.9
小売業	-16.9	-17.9	-1.0	-17.4	0.5
サービス業	-3.7	-4.0	-0.3	-2.7	1.3
建設業	16.9	18.5	1.6	17.3	-1.2
不動産業	10.6	10.5	-0.1	5.9	-4.6
総合	-2.0	-2.9	-0.9	-2.3	0.6

※前期(2018年10～12月) 来期(2019年4～6月)

<製造業>

業況は前期まで改善傾向が続いていたものの、今期はやや厳しさを強めた。売上額はわずかに減少に転じた。収益は再びやや減少が強まっている。価格面では、販売価格は前期同様ほぼ横ばいで推移し、原材料価格については3期連続で上昇している。資金繰りは前期同様の厳しさが続き、在庫は適正範囲が保たれている。

経営上の問題点の上位項目は、「売上の停滞・減少」(35%)、「同業者間の競争の激化」(27%)、「人手不足」「利幅の縮小」(18%)の順となっている。重点経営施策の上位項目は前期同様に、「販路を広げる」(57%)、「経費を節減する」(41%)、「人材を確保する」(18%)となった。

来期の業況は水面下ながら再び改善するとみている。売上額はわずかながら増加に転じ、収益は減少が弱まると予想している。価格面では、販売価格はほぼ横ばいで推移し、原材料価格は上昇がやや弱まると予想している。

<小売業>

業況は前期同様の厳しさを推した。売上額はわずかに減少を強め、収益は前期並の減益で推移した。価格面では、販売価格のゆるやかな上昇が続いて、仕入価格は前期同様の上昇基調が続いた。資金繰りは前期並の苦しさが続き、人手の不足感がさらに強まっている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に、「売上の停滞・減少」(42%)、「同業者間の競争の激化」(28%)、「大型店との競争の激化」(27%)の順となっている。重点経営施策の上位項目についても上位に変動なく、「経費を節減する」(40%)、「品揃えを改善する」(32%)、「宣伝・広告を強化する」(23%)の順となった。

来期の業況は今期同様の厳しさが続く予想するものの、売上額はわずかに改善し、収益もやや改善するとみている。価格面では、販売価格は大きな変動なくほぼ横ばいで推移し、仕入価格は上昇がやや弱まると予想している。

<サービス業>

業況は前期同様の厳しさが続いているものの、売上額はわずかに増加へ転じ、収益も減益が縮小してやや改善がみられた。価格面では、料金価格は前期並のゆるやかな上昇が続いて推移し、材料価格も前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の厳しさで、人手は強い不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は、第1位の「同業者間の競争の激化」(36%)は変わらないが、第2位に「人手不足」(30%)が浮上し、前期まで2位の「売上の停滞・減少」(29%)を上回っている。重点経営施策の上位項目は、「販路を広げる」が前期より増加して「経費を節減する」(39%)と同率1位となっている。次いで「人材を確保する」(26%)、「宣伝・広告を強化する」(21%)の順となった。

来期の業況はわずかに改善すると予想している。売上額はわずかに増加し、収益の減少も弱まり増減なく推移するとみている。価格面では、料金価格はほぼ横ばいで推移し、材料価格は引続き今期並の上昇で推移すると予想している。

<建設業>

業況は予想を上回って高い水準で良好感が続いている。売上額・受注残・施工高・収益はいずれも前期同様の増加傾向が続いている。価格面では、請負価格は前期並のゆるやかな上昇が続く、材料価格の上昇は引続き強まっている。資金繰りは前期同様に良好な状態で、人手は非常に厳しい不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は、「人手不足」(41%)、「同業者間の競争の激化」(30%)、「材料価格の上昇」(22%)の順となっている。重点経営施策の上位項目は、「人材を確保する」(45%)、「販路を広げる」及び「経費を節減する」(39%)、「技術力を高める」(22%)の順となった。

来期の業況は若干良好感が弱まると予想している。売上額・受注残・施工高・収益については増加傾向が弱まって一服すると予想している。価格面では、請負価格はわずかに上昇幅が縮小し、材料価格は上昇圧力が強い中でやや弱まると予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2019年1月～3月期)

製造業

【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-8	-3	-23	-15	7	9	-9	-2	-22	-20	-22	-22	-4	-13	-35	-18	13	1
売上額	-2	-1	-16	-11	10	9	0	2	-18	-13	-18	-15	4	-9	-31	-14	21	0
受注残	-3	-1	-17	-15	13	9	-5	-1	-12	-11	-12	-11	1	-12	-34	-12	11	4
収益	-4	-3	-13	-14	4	5	-2	1	-9	-12	-9	-14	-3	-18	-37	-13	18	-3
販売価格	0	1	5	2	4	3	-2	2	6	-3	6	-4	-3	-3	-16	-4	-5	4
原材料価格	18	20	34	24	19	18	26	25	23	20	23	20	4	17	3	17	15	24
原材料在庫	0	2	7	-3	2	2	-1	4	8	1	8	0	2	0	-13	-3	0	4
資金繰り	-9	-7	-6	-13	-8	0	-10	-5	-16	-15	-16	-16	-14	-13	-40	-18	13	-7
雇用																		
残業時間	1	2	0	-2	3	5	-4	2	-13	-2	-13	-3	0	4	0	1	10	4
人手	-13	-16	-14	-14	-12	-20	-7	-14	-8	-10	-8	-9	-19	-12	-8	-19	-25	-18
同期比																		
売上額	-2	1	-22	-17	10	12	15	8	-25	-11	-25	-13	-13	-12	-42	-17	25	6
収益	-6	-2	-22	-14	7	9	7	2	-21	-13	-21	-14	-19	-17	-42	-15	10	-1
経営上の問題点																		
① 売上の停滞・減少	30	35	43	37	21	28	30	32	42	47	42	47	31	45	25	34	20	30
② 同業者間の競争の激化	25	27	14	23	26	26	26	23	29	37	29	36	13	23	17	32	25	24
③ 原材料高	16	16	29	27	21	15	11	15	13	13	13	14	6	15	17	6	10	18
④ 人手不足	16	18	14	17	17	22	19	19	4	13	4	13	44	15	8	17	20	15
⑤ 利幅の縮小	15	18	14	15	17	17	7	19	25	24	25	24	6	15	-	14	15	17
重点経営施策																		
① 販路を広げる	50	57	64	66	48	53	44	53	58	66	58	65	44	62	58	54	50	55
② 経費を節減する	39	41	43	41	38	36	26	41	33	48	33	47	38	38	42	43	35	39
③ 情報力を強化する	13	15	7	11	21	15	15	13	17	16	17	15	-	11	8	15	5	14
④ 人材を確保する	13	18	-	13	14	23	11	19	17	12	17	12	25	18	8	19	20	16
⑤ 新製品・技術を開発する	9	12	7	18	14	15	7	7	8	10	8	8	-	7	8	9	15	14
借入の難易度	3	1	-18	-9	10	4	0	5	5	-6	5	-5	0	-3	-8	-7	31	6

【来期見通しの比較】

業況	-6	-1	-1	-7	8	12	-2	0	-21	-17	-21	-17	-16	-15	-32	-14	20	4
売上額	-3	1	-4	-7	13	12	-1	3	-28	-14	-28	-13	-4	-6	-22	-7	21	3
受注残	-4	0	0	-8	9	10	-3	0	-24	-10	-24	-11	-9	-5	-27	-9	18	5
収益	-5	-2	-4	-11	7	7	1	1	-19	-12	-19	-14	-3	-11	-21	-10	10	-2
販売価格	-1	2	9	4	6	4	-3	3	4	-2	4	-4	-9	-2	-9	-2	-9	2
原材料価格	14	17	26	20	12	15	21	22	18	15	18	15	9	9	2	10	14	19
原材料在庫	1	0	8	-3	1	2	3	2	5	-1	5	-2	5	-2	-7	-4	-4	0
資金繰り	-6	-7	-2	-11	-4	0	-6	-6	-6	-14	-6	-15	-16	-7	-32	-13	5	-6
雇用																		
残業時間	1	1	7	-2	3	4	0	-1	-13	-2	-13	-2	6	3	0	-2	10	4
人手	-14	-15	-14	-11	-13	-19	-15	-14	-21	-11	-21	-10	-19	-11	-8	-19	-25	-20

*季節変動調整済D-1を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

*単純D-1を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

*企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小売業

【今期実績の比較】

	全 体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品		
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	
業況	-30	-18	-12	-12	-30	-19	-20	-23	
売上額	-15	-14	-7	-5	-16	-17	-1	-18	
収益	-12	-14	-9	-6	-13	-17	-1	-19	
販売価格	9	3	2	3	20	6	-1	-5	
仕入価格	9	13	0	9	13	17	-4	1	
在庫	-2	3	-1	1	-4	1	-5	9	
資金繰り	-14	-14	-19	-6	-10	-13	-17	-15	
雇用	残業時間	-4	0	0	-2	-3	2	-7	-1
	人手	-9	-11	-18	-9	-9	-14	0	-7
同期比	売上額	-17	-14	-18	-8	-21	-17	-7	-24
	収益	-15	-15	-9	-8	-18	-17	-14	-25
	販売価格	9	2	0	0	24	7	0	-7
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	41	42	18	36	38	40	43	49
	② 同業者間の競争の激化	29	28	27	23	29	27	50	28
	③ 大型店との競争の激化	26	27	46	35	24	31	29	25
	④ 商店街の集客力の低下	15	16	27	14	12	15	7	18
	⑤ 利幅の縮小	14	12	18	12	18	12	-	8
重点経営施策	① 経費を節減する	35	40	36	36	38	40	14	33
	② 品揃えを改善する	27	32	18	27	27	34	36	40
	③ 宣伝・広告を強化する	22	23	27	22	24	21	29	26
	④ 商店街事業を活性化させる	16	16	18	15	15	16	21	20
	⑤ 売れ筋商品を取り扱う	14	19	36	20	6	21	21	20
借入の難易度	-9	-8	10	1	-13	-8	-20	-11	

【来期見通しの比較】

業況	-30	-17	-13	-12	-28	-18	-20	-22	
売上額	-14	-12	-11	-12	-16	-14	-4	-13	
収益	-13	-13	-10	-13	-16	-16	-5	-12	
販売価格	3	2	8	-1	12	6	-2	-4	
仕入価格	10	11	-1	6	16	16	-3	1	
在庫	0	2	-1	1	-5	1	-3	6	
資金繰り	-14	-13	-19	-8	-12	-12	-15	-13	
雇用	残業時間	-6	-1	0	-2	-6	0	-7	-1
	人手	-13	-11	-18	-10	-9	-13	0	-7

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-11	-4
売上額		-11	1
収益		-16	-2
料金価格		-1	2
材料価格		15	14
資金繰り		-18	-4
雇用	残業時間	-11	-1
	人手	-22	-25
同期比	売上額	-14	-1
	収益	-22	-4
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	38	36
	② 売上の停滞・減少	32	29
	③ 人手不足	29	30
	④ 利幅の縮小	12	12
	⑤ 大企業との競争の激化	12	7
重点経営施策	① 経費を節減する	36	39
	② 販路を広げる	34	39
	③ 人材を確保する	25	26
	④ 宣伝・広告を強化する	25	21
	⑤ 提携先を見つける	11	8
借入の難易度		0	-1

建設業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		9	19
売上額		13	18
受注残		11	17
施工高		10	15
収益		4	12
請負価格		0	7
材料価格		39	30
在庫		-3	0
資金繰り		-6	2
雇用	残業時間	5	6
	人手	-37	-34
同期比	売上額	12	18
	収益	2	11
経営上の問題点	① 人手不足	37	41
	② 同業者間の競争の激化	24	30
	③ 売上の停滞・減少	23	20
	④ 利幅の縮小	19	16
	⑤ 人件費の増加	18	14
重点経営施策	① 人材を確保する	44	45
	② 経費を節減する	39	39
	③ 販路を広げる	31	39
	④ 情報力を強化する	24	20
	⑤ 技術力を高める	23	22
借入の難易度		0	6

【来期見通しの比較】

業況		-11	-3
売上額		-16	1
収益		-12	-1
料金価格		-3	2
材料価格		12	13
資金繰り		-19	-5
雇用	残業時間	-10	-1
	人手	-24	-25

【来期見通しの比較】

業況		4	17
売上額		-5	14
受注残		-6	13
施工高		-5	11
収益		-7	8
請負価格		-5	5
材料価格		32	28
在庫		-3	0
資金繰り		-8	1
雇用	残業時間	-2	3
	人手	-32	-35

* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

江戸川区の業種別転記表

(2019年1月～3月期)

製造業

転記表 No.1

2019年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	15.0	10.7	16.0	10.5	14.7	13.5	14.3	10.1	11.7	10.2	12.2	8.4	15.3	11.0	16.0	13.1		13.1
	普 通	58.7	64.5	56.6	66.6	63.0	64.9	65.7	69.6	65.0	71.3	63.9	71.4	61.5	71.0	60.5	67.7		68.8
	悪 い	26.3	24.8	27.4	22.9	22.3	21.6	20.0	20.3	23.3	18.5	23.9	20.2	23.2	18.0	23.5	19.2		18.1
	D・I	-11.3	-14.1	-11.4	-12.4	-7.6	-8.1	-5.7	-10.2	-11.6	-8.3	-11.7	-11.8	-7.9	-7.0	-7.5	-6.1		-5.0
	修 正 値	-13.6	-14.9	-11.8	-15.4	-9.7	-10.2	-7.1	-10.3	-12.0	-8.4	-11.6	-12.8	-9.6	-8.7	-7.9	-6.5	1.7	-5.5
	傾 向 値	-9.2		-10.1		-10.8		-10.1		-9.0		-9.1		-9.2		-9.5			
売 上 額	増 加	14.5	8.0	16.9	10.3	16.4	11.8	16.7	11.3	14.0	10.0	10.2	8.7	14.8	8.3	18.6	11.4		12.1
	変 ら ず	61.2	72.2	57.7	69.5	64.8	71.7	63.3	70.8	63.8	73.3	66.9	74.4	61.1	74.6	61.8	72.3		74.3
	減 少	24.3	19.8	25.4	20.2	18.8	16.5	20.0	17.9	22.2	16.7	22.9	16.9	24.1	17.1	19.6	16.3		13.6
	D・I	-9.8	-11.8	-8.5	-9.9	-2.4	-4.7	-3.3	-6.6	-8.2	-6.7	-12.7	-8.2	-9.3	-8.8	-1.0	-4.9		-1.5
	修 正 値	-11.7	-12.2	-7.8	-12.5	-3.8	-7.2	-5.5	-4.8	-9.0	-7.0	-10.9	-9.6	-9.5	-10.0	-2.4	-3.7	7.1	-2.7
	傾 向 値	-8.3		-9.4		-8.8		-7.0		-5.8		-6.1		-7.5		-8.1			
受 注 残	増 加	12.1	7.6	15.0	8.9	15.5	8.5	15.2	12.3	13.5	8.1	9.3	7.7	15.8	7.3	17.1	10.4		11.6
	変 ら ず	65.0	72.0	62.5	72.3	70.4	75.5	66.7	72.1	67.7	76.7	67.8	75.9	65.0	75.1	63.8	73.3		72.8
	減 少	22.9	20.4	22.5	18.8	14.1	16.0	18.1	15.6	18.8	15.2	22.9	16.4	19.2	17.6	19.1	16.3		15.6
	D・I	-10.8	-12.8	-7.5	-9.9	1.4	-7.5	-2.9	-3.3	-5.3	-7.1	-13.6	-8.7	-3.4	-10.3	-2.0	-5.9		-4.0
	修 正 値	-10.6	-13.1	-7.3	-11.1	-1.3	-9.6	-5.0	-4.0	-4.7	-6.8	-12.0	-8.8	-6.2	-11.2	-2.6	-6.9	3.6	-4.2
	傾 向 値	-6.5		-7.9		-7.6		-6.0		-4.3		-4.3		-5.7		-6.2			
収 益	増 加	12.1	7.1	15.0	6.6	16.4	9.9	15.2	10.4	12.1	8.1	6.8	6.8	12.3	6.3	13.6	9.9		10.1
	変 ら ず	63.6	70.6	59.2	70.9	64.8	71.7	62.4	70.7	64.2	72.4	68.3	74.4	64.5	75.2	68.3	73.8		75.3
	減 少	24.3	22.3	25.8	22.5	18.8	18.4	22.4	18.9	23.7	19.5	24.9	18.8	23.2	18.5	18.1	16.3		14.6
	D・I	-12.2	-15.2	-10.8	-15.9	-2.4	-8.5	-7.2	-8.5	-11.6	-11.4	-18.1	-12.0	-10.9	-12.2	-4.5	-6.4		-4.5
	修 正 値	-14.8	-14.9	-10.7	-18.1	-5.1	-9.9	-7.4	-8.7	-12.6	-10.9	-16.8	-12.8	-12.6	-13.0	-4.4	-7.3	8.2	-4.8
	傾 向 値	-10.9		-11.7		-11.1		-9.2		-8.1		-8.9		-10.9		-11.6			
価 格 動 向	販 売 価 格	-2.8	-4.7	-1.4	-2.8	-1.0	-3.3	-1.4	-3.3	-2.4	-3.8	-1.0	-2.4	-1.0	-2.0	-1.0	-2.0		-0.5
	〃 修 正 値	-4.4	-6.0	-2.2	-4.0	-2.0	-3.2	-1.5	-4.2	-3.5	-4.6	-1.0	-3.0	-1.2	-1.3	-0.2	-1.9	1.0	-1.0
	〃 傾 向 値	-4.5		-3.7		-2.9		-2.1		-1.6		-1.5		-1.5		-1.4			
	原 材 料 価 格	18.7	9.9	14.6	14.1	17.9	12.2	20.0	19.8	18.4	14.9	21.9	14.5	18.8	14.6	16.0	13.3		13.0
	〃 修 正 値	16.9	8.4	15.5	14.1	16.6	11.6	19.4	18.6	17.2	14.3	23.4	15.2	18.7	16.1	17.5	13.0	-1.2	13.9
	〃 傾 向 値	12.3		13.8		15.1		16.8		17.8		18.6		19.7		19.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原 材 料 在 庫 数 量	2.3	0.0	2.8	1.8	-0.9	1.9	1.4	-1.5	0.4	-0.5	-3.9	-0.5	-3.4	-3.4	-0.5	-2.0		0.0
	〃 修 正 値	2.0	0.4	2.2	0.9	-0.9	1.6	1.6	-1.4	-0.1	-0.4	-3.5	-1.7	-2.2	-2.6	0.1	-1.2	2.3	0.5
	資 金 繰 り	-6.5	-10.5	-4.7	-8.0	-9.4	-7.1	-10.5	-8.0	-5.3	-10.0	-6.4	-2.5	-7.9	-4.0	-10.0	-6.4		-7.0
〃 修 正 値	-9.7	-11.8	-6.3	-10.2	-9.1	-8.6	-10.2	-7.3	-8.2	-10.5	-7.8	-5.6	-7.7	-6.0	-8.6	-6.2	-0.9	-6.2	
前 年 同 期 比	売 上 額	-8.4		-6.6		-1.9		1.9		0.0		-8.3		-6.0		-1.5			
	収 益	-12.3		-12.2		-8.4		-2.9		-5.8		-15.2		-10.3		-5.5			
雇 用	残 業 時 間	-2.9	-3.3	-6.6	-0.4	-2.3	-2.9	-1.5	-4.7	-1.5	-1.9	-2.9	-2.5	0.5	0.0	0.5	1.0		0.5
	人 手	-10.8	-12.8	-12.8	-11.9	-11.8	-13.8	-13.9	-10.4	-13.2	-13.9	-9.3	-12.6	-11.3	-11.7	-12.6	-11.4		-13.7
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	23.0	15.8	23.2	14.7	20.9	16.4	19.6	14.8	18.8	14.1	21.2	12.6	23.2	12.4	19.6	14.0		17.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	77.0	84.2	76.8	85.3	79.1	83.6	80.4	85.2	81.2	85.9	78.8	87.4	76.8	87.6	80.4	86.0		82.7
	借 入 難 易 度	-3.3		-1.1		0.0		-1.6		-3.8		1.7		-2.3		2.9			
有効回答事業所数		214		214		214		210		207		205		203		200			

製造業

転記表 No.2

2019年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-8.0	-6.3	-6.2	-7.6	-6.6	-5.3	-5.8	-5.3	-3.9	-4.8	-6.4	-2.4	-7.9	-3.9	-5.6	-5.5		-6.7
	実施した・予定あり	15.8	13.4	18.3	14.9	15.0	14.4	20.4	15.2	18.8	17.5	17.0	12.8	16.0	15.8	15.9	15.2		18.4
	事業用土地・建物	6.1	3.7	7.9	10.0	3.2	13.8	14.3	6.5	7.9	17.1	11.8	20.0	15.6	9.7	9.7	10.0		5.7
	機械・設備の新・増設	36.4	44.4	39.5	43.3	29.0	48.3	42.9	45.2	21.1	40.0	41.2	32.0	59.4	41.9	32.3	40.0		34.3
	機械・設備の更改	33.3	33.3	36.8	26.7	25.8	34.5	38.1	32.3	42.1	37.1	41.2	36.0	37.5	45.2	29.0	50.0		28.6
	事務機器	21.2	25.9	18.4	16.7	38.7	10.3	14.3	12.9	31.6	11.4	17.6	32.0	12.5	9.7	25.8	13.3		17.1
	車両	24.2	18.5	23.7	16.7	32.3	6.9	19.0	22.6	26.3	17.1	23.5	28.0	9.4	22.6	35.5	16.7		31.4
	その他	9.1	-	-	10.0	-	-	-	-	5.3	-	-	4.0	-	-	3.2	-		5.7
	実施しない・予定なし	84.2	86.6	81.7	85.1	85.0	85.6	79.6	84.8	81.2	82.5	83.0	87.2	84.0	84.2	84.1	84.8		81.6
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	42.5		34.1		34.1		34.3		36.7		35.6		30.0		29.5		
人手不足		13.1		12.1		11.2		15.2		15.5		16.1		13.3		16.0			
大手企業との競争の激化		9.8		7.9		9.3		8.1		8.7		7.8		8.9		10.0			
同業者間の競争の激化		24.8		22.9		26.2		21.0		23.7		22.9		20.2		25.0			
親企業による選別の強化		0.9		2.3		0.9		1.9		1.4		2.4		3.0		2.5			
輸入製品との競争の激化		4.2		3.7		4.2		5.7		6.8		5.4		6.4		5.0			
合理化の不足		3.3		5.6		4.7		3.8		3.9		2.9		3.9		3.5			
利幅の縮小		20.1		15.9		18.2		16.2		20.8		19.5		17.7		15.0			
原材料高		15.9		10.3		14.5		18.6		22.7		16.1		16.3		16.0			
販売納入先からの値下げ要請		7.9		7.9		7.9		8.6		7.2		8.3		7.9		6.0			
仕入先からの値上げ要請		3.3		3.7		3.3		4.3		4.8		4.9		5.4		4.0			
人件費の増加		3.7		5.6		4.2		6.7		5.3		6.3		3.4		5.0			
人件費以外の経費増加		2.3		1.9		1.4		2.9		2.4		2.4		2.5		3.5			
工場・機械の狭小・老朽化		9.8		14.5		11.7		12.4		7.2		10.7		6.9		8.5			
生産能力の不足		3.7		4.7		3.7		5.2		4.3		5.9		5.9		3.0			
下請の確保難		3.3		4.7		6.5		3.8		3.4		2.9		2.0		3.5			
代金回収の悪化		0.5		0.5		0.5		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0			
地価の高騰		-		-		-		0.5		-		-		-		-			
天候の不順		0.5		2.8		0.5		1.0		1.4		1.0		0.5		1.0			
地場産業の衰退		2.8		2.8		2.8		2.4		2.9		3.9		2.0		3.0			
大手企業・工場の縮小・撤退	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		1.0		1.0		0.5				
為替レートの変動	-		0.5		0.5		0.5		0.5		-		0.5		0.5				
その他	-		0.5		0.5		0.5		-		1.0		0.5		1.5				
問題なし	12.6		12.6		13.1		11.4		11.6		9.8		13.8		12.0				
重点経営施策(%)	販路を広げる	53.3		50.5		47.7		51.4		53.1		51.7		51.7		50.0			
	経費を節減する	43.5		37.9		42.1		41.4		42.0		43.4		39.4		39.0			
	情報力を強化する	15.4		13.1		10.7		13.3		13.0		12.7		12.3		13.0			
	新製品・技術を開発する	12.1		10.3		11.7		10.0		10.6		10.7		11.3		8.5			
	不採算部門を整理・縮小する	4.7		3.7		3.7		3.3		3.4		2.9		3.4		4.5			
	提携先を見つける	9.3		10.7		10.7		11.0		10.1		9.3		7.9		8.0			
	機械化を推進する	7.0		7.0		6.1		7.6		7.2		6.3		5.9		7.5			
	人材を確保する	12.6		13.1		14.5		15.2		13.0		15.1		10.3		12.5			
	パート化を図る	2.3		1.9		1.9		1.9		1.9		1.5		1.5		2.5			
	教育訓練を強化する	2.3		2.8		4.7		3.3		2.9		2.4		2.5		4.5			
	労働条件を改善する	1.4		2.3		0.9		1.4		1.9		3.4		2.0		3.0			
	工場・機械を増設・移転する	3.3		5.6		3.7		3.3		3.4		3.4		4.9		5.5			
	不動産の有効活用を図る	2.3		1.4		0.5		1.0		1.4		1.5		1.0		-			
	その他	-		-		0.5		0.5		-		-		0.5		0.5			
	特になし	15.0		17.8		16.4		14.3		15.5		15.1		16.7		15.0			
有効回答事業所数	214		214		214		210		207		205		203		200				

小売業

転記表 No.1

2019年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期	5月～7月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期					
業 況	良 い	4.0	5.1	6.1	5.1	5.1	6.2	6.5	6.3	10.1	5.5	9.3	9.3	7.4	7.4	4.2	5.3		3.2
	普 通	64.3	59.5	65.6	62.2	63.6	66.0	62.3	63.2	60.6	59.3	58.7	62.9	61.0	64.9	61.1	64.9		62.1
	悪 い	31.7	35.4	28.3	32.7	31.3	27.8	31.2	30.5	29.3	35.2	32.0	27.8	31.6	27.7	34.7	29.8		34.7
	D・I	-27.7	-30.3	-22.2	-27.6	-26.2	-21.6	-24.7	-24.2	-19.2	-29.7	-22.7	-18.5	-24.2	-20.3	-30.5	-24.5		-31.5
	修正値	-33.1	-32.5	-23.4	-32.0	-26.3	-23.6	-25.9	-24.8	-24.9	-29.5	-23.3	-23.2	-23.2	-22.8	-29.9	-24.5	-6.7	-30.0
	傾 向 値	-34.4		-31.4		-27.8		-25.7		-24.1		-23.1		-23.0		-23.4			
売 上 額	増 加	5.9	6.0	7.1	5.0	9.1	2.0	5.3	4.1	6.1	3.3	11.3	1.0	8.4	7.2	6.3	5.3		4.2
	変 ら ず	76.3	65.0	72.7	77.2	71.7	81.7	71.3	74.5	66.6	75.0	68.1	78.6	70.5	76.3	71.8	77.7		77.0
	減 少	17.8	29.0	20.2	17.8	19.2	16.3	23.4	21.4	27.3	21.7	20.6	20.4	21.1	16.5	21.9	17.0		18.8
	D・I	-11.9	-23.0	-13.1	-12.8	-10.1	-14.3	-18.1	-17.3	-21.2	-18.4	-9.3	-19.4	-12.7	-9.3	-15.6	-11.7		-14.6
	修正値	-18.9	-23.8	-13.2	-17.5	-12.6	-16.1	-17.9	-18.2	-25.0	-17.7	-10.1	-22.6	-15.2	-13.1	-14.7	-12.7	0.5	-14.0
	傾 向 値	-23.7		-19.8		-15.9		-13.8		-14.5		-15.2		-15.0		-15.0			
収 益	増 加	5.9	5.0	6.1	3.0	10.1	2.0	3.2	5.1	4.0	3.3	12.4	3.1	8.4	9.3	5.2	7.4		3.1
	変 ら ず	75.3	65.0	72.7	77.2	66.7	77.6	72.3	71.4	68.7	71.7	66.0	75.5	70.5	74.2	76.0	74.5		79.2
	減 少	18.8	30.0	21.2	19.8	23.2	20.4	24.5	23.5	27.3	25.0	21.6	21.4	21.1	16.5	18.8	18.1		17.7
	D・I	-12.9	-25.0	-15.1	-16.8	-13.1	-18.4	-21.3	-18.4	-23.3	-21.7	-9.2	-18.3	-12.7	-7.2	-13.6	-10.7		-14.6
	修正値	-19.1	-25.6	-15.3	-20.2	-15.3	-20.6	-21.3	-19.3	-26.9	-20.7	-10.9	-21.4	-15.9	-12.3	-12.3	-12.9	3.6	-13.3
	傾 向 値	-24.4		-20.7		-17.8		-16.0		-16.9		-17.5		-16.7		-15.7			
業 況 の 他 の 事 業 所 数																			
価 格 動 向	販 売 価 格	2.0	-4.0	2.1	2.0	6.0	4.1	2.1	3.1	9.0	1.1	4.1	8.1	5.2	2.1	9.3	2.1		4.2
	" 修正値	-0.6	-8.3	1.5	-0.1	4.5	4.5	1.2	3.7	5.6	-2.3	4.9	5.3	3.8	3.1	9.1	3.1	5.3	2.8
	" 傾向値	-3.8		-1.6		0.5		2.3		3.9		5.1		5.2		6.0			
	仕 入 価 格	7.9	5.0	9.1	9.9	10.1	7.2	8.5	9.2	12.2	5.5	8.2	11.2	10.5	3.1	9.4	7.4		10.4
	" 修正値	6.2	3.2	10.1	7.6	9.1	9.5	8.0	8.9	10.7	3.8	9.7	9.3	10.0	5.7	9.3	7.4	-0.7	9.7
	" 傾向値	5.4		7.3		8.8		9.0		9.4		9.9		9.8		10.0			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	1.0	-1.0	-4.1	0.0	3.0	-3.1	-3.2	2.0	-1.0	-5.4	-6.1	-3.0	-1.1	-7.2	-2.1	1.1		-1.1
	" 修正値	0.6	-0.6	-2.2	-0.6	1.7	-2.6	-3.2	1.5	-2.0	-4.9	-3.1	-3.5	-2.5	-5.4	-1.9	-0.6	0.6	-0.4
	資 金 繰 り	-13.8	-17.2	-9.0	-13.9	-16.2	-7.1	-16.1	-15.3	-16.2	-16.5	-14.4	-16.3	-12.6	-12.4	-13.6	-14.8		-14.6
	" 修正値	-16.1	-18.6	-9.5	-16.2	-16.8	-8.7	-17.1	-15.3	-18.2	-16.7	-14.8	-18.0	-13.8	-14.2	-14.1	-15.5	-0.3	-14.4
前 年 同 期 比	売 上 額	-15.9		-13.1		-17.1		-23.4		-15.1		-13.4		-16.9		-16.6			
	収 益	-15.8		-17.1		-18.1		-25.6		-23.2		-16.5		-13.7		-14.6			
	販 売 価 格	4.9		5.1		9.1		7.4		9.1		7.2		6.3		9.4			
雇 用	残 業 時 間	-4.0	-6.1	-1.0	-3.0	-4.1	0.0	-2.2	-3.1	-5.1	0.0	-2.1	-5.1	-4.3	-2.1	-4.3	-3.2		-6.4
	人 手	-5.9	-1.0	-5.1	-4.0	-6.1	-5.2	-4.2	-7.1	-6.2	-5.4	-6.3	-5.1	-7.4	-7.3	-9.4	-7.6		-12.6
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	10.9	7.0	14.3	4.1	9.1	5.2	10.6	6.1	11.1	5.4	11.5	10.3	16.0	7.4	10.4	7.5		8.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	89.1	93.0	85.7	95.9	90.9	94.8	89.4	93.9	88.9	94.6	88.5	89.7	84.0	92.6	89.6	92.5		91.7
	借入難易度	-10.6		-11.4		-9.2		-8.8		-16.9		-12.1		-7.3		-9.1			
有効回答事業所数	101		100		101		95		100		97		96		96				

小売業

転記表 No.2

2019年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.0	-6.1	-6.1	-7.0	-5.1	-7.1	-6.4	-7.1	-7.1	-8.7	-8.3	-6.3	-7.4	-8.4	-2.1	-7.5		-3.1	
	実施した・予定あり	7.1	2.2	4.2	4.2	4.0	2.2	1.1	5.1	6.1	2.3	3.2	7.3	3.2	5.4	5.3	4.4		5.4	
	事業用土地・建物	28.6	50.0	-	25.0	50.0	-	-	-	33.3	-	33.3	28.6	-	20.0	20.0	25.0		40.0	
	事務機器	28.6	-	25.0	25.0	25.0	-	100.0	60.0	33.3	50.0	33.3	14.3	66.7	20.0	20.0	25.0		40.0	
	車両	14.3	-	25.0	-	-	-	100.0	40.0	33.3	-	-	28.6	-	40.0	40.0	25.0		20.0	
	その他	28.6	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	-	40.0	16.7	50.0	66.7	42.9	66.7	40.0	20.0	50.0		-	
	実施しない・予定なし	92.9	97.8	95.8	95.8	96.0	97.8	98.9	94.9	93.9	97.7	96.8	92.7	96.8	94.6	94.7	95.6		94.6	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	41.6		51.0		46.5		45.3		43.0		43.3		37.5		40.6				
	人手不足	7.9		7.0		6.9		6.3		8.0		7.2		6.3		12.5				
	同業者間の競争の激化	26.7		29.0		25.7		25.3		25.0		26.8		21.9		29.2				
	大型店との競争の激化	37.6		35.0		29.7		29.5		35.0		30.9		32.3		26.0				
	輸入製品との競争の激化	2.0		3.0		3.0		2.1		4.0		2.1		1.0		1.0				
	利幅の縮小	11.9		9.0		10.9		7.4		10.0		9.3		12.5		13.5				
	取扱商品の陳腐化	3.0		2.0		1.0		1.1		1.0		4.1		2.1		3.1				
	販売商品の不足	3.0		3.0		4.0		3.2		3.0		4.1		3.1		1.0				
	販売納入先からの値下げ要請	-		1.0		1.0		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	5.0		5.0		4.0		8.4		9.0		6.2		8.3		6.3				
	人件費の増加	4.0		3.0		2.0		2.1		2.0		2.1		2.1		4.2				
	人件費以外の経費の増加	-		-		2.0		1.1		-		1.0		2.1		2.1				
	取引先の減少	6.9		6.0		10.9		6.3		7.0		6.2		8.3		6.3				
	商圏人口の減少	9.9		6.0		10.9		10.5		6.0		11.3		5.2		4.2				
	商店街の集客力の低下	10.9		10.0		13.9		11.6		14.0		10.3		13.5		14.6				
	店舗の狭小・老朽化	4.0		4.0		5.9		6.3		5.0		6.2		3.1		4.2				
	代金回収の悪化	-		1.0		-		-		1.0		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	1.0		-		2.0		1.1		1.0		1.0		-		1.0				
	天候の不順	3.0		3.0		2.0		2.1		1.0		1.0		4.2		-				
地場産業の衰退	2.0		1.0		-		1.1		1.0		2.1		2.1		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		1.0		-		-		-		-		-		1.0					
その他	1.0		-		-		1.1		3.0		2.1		-		-					
問題なし	13.9		9.0		8.9		12.6		9.0		8.2		15.6		12.5					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	31.7		28.0		24.8		26.3		27.0		32.0		27.1		27.1				
	経費を削減する	34.7		32.0		30.7		34.7		31.0		30.9		28.1		35.4				
	宣伝・広報を強化する	24.8		30.0		26.7		28.4		26.0		24.7		20.8		21.9				
	新しい事業を始める	1.0		-		1.0		-		-		-		2.1		1.0				
	店舗・設備を改装する	4.0		5.0		5.9		5.3		5.0		3.1		2.1		4.2				
	仕入先を開拓・選別する	5.0		4.0		7.9		5.3		8.0		7.2		10.4		11.5				
	営業時間を延長する	5.0		4.0		4.0		3.2		3.0		3.1		3.1		4.2				
	売れ筋商品を取り扱う	24.8		23.0		23.8		21.1		24.0		19.6		19.8		13.5				
	商店街事業を活性化させる	15.8		18.0		17.8		20.0		19.0		17.5		15.6		15.6				
	機械化を推進する	-		-		-		-		1.0		-		1.0		2.1				
	人材を確保する	5.0		4.0		5.0		2.1		5.0		3.1		4.2		5.2				
	パート化を図る	-		2.0		1.0		1.1		1.0		1.0		1.0		-				
	教育訓練を強化する	2.0		3.0		5.0		4.2		4.0		4.1		2.1		1.0				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	1.0		1.0		2.0		3.2		4.0		3.1		3.1		3.1				
	その他	1.0		-		-		-		-		-		-		1.0				
	特になし	21.8		15.0		19.8		20.0		18.0		18.6		22.9		17.7				
有効回答事業所数	101		100		101		95		100		97		96		96					

サービス業

転記表 No.1

2019年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	12.7	8.6	9.3	8.6	9.5	10.8	13.5	13.5	8.2	15.3	13.3	8.5	9.6	12.0	12.3	6.8		9.7
	普 通	60.5	60.0	64.0	65.7	62.1	64.9	56.8	63.5	71.3	61.1	61.4	70.4	63.0	66.7	65.8	67.2		70.9
	悪 い	26.8	31.4	26.7	25.7	28.4	24.3	29.7	23.0	20.5	23.6	25.3	21.1	27.4	21.3	21.9	26.0		19.4
	D・I	-14.1	-22.8	-17.4	-17.1	-18.9	-13.5	-16.2	-9.5	-12.3	-8.3	-12.0	-12.6	-17.8	-9.3	-9.6	-19.2		-9.7
	修正値	-17.2	-23.6	-20.3	-18.7	-17.7	-16.7	-15.4	-9.3	-14.7	-9.2	-15.1	-12.5	-16.9	-11.4	-10.5	-19.5	6.4	-11.3
	傾 向 値	-19.5		-18.2		-17.7		-17.1		-16.4		-15.5		-14.7		-13.8			
売 上 額	増 加	11.3	7.1	13.3	12.9	9.5	12.2	13.5	15.1	16.4	12.3	16.0	12.7	11.0	13.3	13.7	8.2		5.5
	変 ら ず	61.9	62.9	60.0	64.2	62.1	64.8	59.5	64.4	63.1	68.5	62.7	67.6	58.9	70.7	61.6	69.9		72.6
	減 少	26.8	30.0	26.7	22.9	28.4	23.0	27.0	20.5	20.5	19.2	21.3	19.7	30.1	16.0	24.7	21.9		21.9
	D・I	-15.5	-22.9	-13.4	-10.0	-18.9	-10.8	-13.5	-5.4	-4.1	-6.9	-5.3	-7.0	-19.1	-2.7	-11.0	-13.7		-16.4
	修正値	-20.4	-23.3	-13.9	-13.8	-19.3	-11.7	-11.0	-6.3	-9.1	-7.2	-5.8	-8.5	-17.9	-3.0	-11.0	-14.8	6.9	-15.8
	傾 向 値	-20.2		-19.1		-17.9		-16.9		-13.9		-11.5		-10.5		-10.2			
収 益	増 加	12.7	4.3	10.7	11.4	6.8	9.5	10.8	12.3	12.3	9.6	13.3	8.5	11.0	9.3	8.2	8.2		6.8
	変 ら ず	60.5	64.3	61.3	62.9	63.5	66.2	63.5	65.8	60.3	67.1	60.0	67.6	58.9	68.0	67.1	67.1		72.7
	減 少	26.8	31.4	28.0	25.7	29.7	24.3	25.7	21.9	27.4	23.3	26.7	23.9	30.1	22.7	24.7	24.7		20.5
	D・I	-14.1	-27.1	-17.3	-14.3	-22.9	-14.8	-14.9	-9.6	-15.1	-13.7	-13.4	-15.4	-19.1	-13.4	-16.5	-16.5		-13.7
	修正値	-21.3	-26.0	-19.7	-19.4	-20.4	-17.4	-12.3	-7.3	-20.0	-11.7	-14.8	-17.5	-16.2	-14.5	-16.2	-15.9	0.0	-12.4
	傾 向 値	-19.7		-19.7		-19.8		-18.8		-17.4		-17.1		-16.1		-15.8			
価 格 動 向	料 金 価 格	-4.2	-7.2	0.0	-4.3	-1.3	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	-4.0	-1.4	0.0	-1.3	-1.3	-5.4		-1.4
	修正値	-6.5	-7.8	-1.7	-5.5	0.3	-0.4	0.8	-0.2	1.3	-1.6	-4.6	-2.1	1.5	-1.2	-1.2	-4.7	-2.7	-2.9
	傾 向 値	-3.0		-3.6		-3.4		-2.1		0.0		0.6		0.2		0.1			
	材 料 価 格	10.0	7.4	12.2	15.9	18.9	12.3	18.9	16.5	20.6	13.7	16.0	16.9	13.7	14.7	13.7	13.7		9.6
	修正値	7.7	9.0	9.8	13.0	19.7	10.1	18.0	16.5	18.4	14.5	15.8	14.5	15.9	14.5	14.7	15.0	-1.2	12.3
	傾 向 値	10.1		10.1		11.8		14.1		16.3		18.1		18.0		16.7			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-9.9	-18.6	-13.4	-8.6	-16.2	-17.5	-10.8	-11.0	-13.7	-8.2	-8.1	-11.3	-10.9	-12.0	-19.2	-8.2		-19.2
	修正値	-11.3	-18.3	-17.3	-10.2	-14.9	-19.7	-10.4	-10.0	-14.3	-9.2	-11.8	-12.4	-11.0	-12.8	-17.6	-8.7	-6.6	-18.7
前 年 同 期 比	売 上 額	-4.2		-13.3		-20.3		-12.2		-1.4		-8.0		-11.0		-13.7			
	収 益	-9.8		-20.0		-21.6		-20.2		-15.3		-13.3		-16.5		-22.0			
雇 用	残 業 時 間	-4.3	-2.9	-4.0	-1.5	-12.2	-1.3	2.7	-5.5	-8.2	1.3	-4.0	-10.0	-6.9	-5.3	-10.9	-7.1		-9.9
	人 手	-16.9	-21.4	-17.3	-14.2	-16.2	-17.8	-16.2	-16.4	-20.5	-16.2	-20.2	-17.1	-16.4	-20.3	-21.9	-21.1		-23.9
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	12.9	4.3	13.3	2.9	13.5	6.8	13.7	5.5	9.7	8.2	5.4	5.7	12.5	6.8	9.6	7.0		5.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	87.1	95.7	86.7	97.1	86.5	93.2	86.3	94.5	90.3	91.8	94.6	94.3	87.5	93.2	90.4	93.0		94.4
	借入難易度	-8.0		0.0		-2.1		-4.1		-10.2		-2.2		0.0		0.0			
有効回答事業所数		71		75		74		74		74		75		74		73			

サービス業

転記表 No.2

2019年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-7.1	-11.6	-13.4	-5.7	-8.1	-9.9	-4.1	-8.2	-6.8	-1.4	-6.7	-8.6	-6.8	-8.3	-2.7	-5.5		-4.2
	実施した・予定あり	17.6	7.6	18.1	17.6	12.5	18.6	16.9	13.9	12.7	15.9	14.7	13.0	15.5	15.3	11.4	17.9		12.7
	事業用土地・建物	8.3	20.0	15.4	8.3	44.4	15.4	16.7	30.0	33.3	9.1	18.2	22.2	9.1	18.2	12.5	16.7		11.1
	機械・設備の新・増設	33.3	40.0	23.1	33.3	44.4	23.1	25.0	60.0	22.2	36.4	18.2	11.1	18.2	27.3	25.0	25.0		11.1
	機械・設備の更改	33.3	-	23.1	33.3	22.2	7.7	25.0	20.0	33.3	18.2	9.1	22.2	18.2	9.1	-	33.3		11.1
	事務機器	16.7	20.0	23.1	16.7	22.2	23.1	8.3	20.0	11.1	9.1	18.2	33.3	45.5	27.3	37.5	33.3		22.2
	車両	50.0	40.0	38.5	41.7	11.1	46.2	50.0	20.0	55.6	45.5	63.6	88.9	36.4	63.6	62.5	41.7		44.4
	その他	8.3	-	15.4	8.3	11.1	7.7	16.7	-	11.1	18.2	9.1	-	9.1	9.1	12.5	-		11.1
	実施しない・予定なし	82.4	92.4	81.9	82.4	87.5	81.4	83.1	86.1	87.3	84.1	85.3	87.0	84.5	84.7	88.6	82.1		87.3
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	29.6		28.0		32.4		35.1		28.4		25.3		31.1		31.5			
	人手不足	18.3		17.3		23.0		16.2		23.0		22.7		24.3		28.8			
	同業者間の競争の激化	42.3		38.7		39.2		39.2		40.5		38.7		41.9		38.4			
	大企業との競争の激化	12.7		13.3		13.5		10.8		13.5		12.0		12.2		12.3			
	合理化の不足	4.2		2.7		4.1		-		2.7		2.7		1.4		-			
	利幅の縮小	9.9		18.7		14.9		17.6		14.9		10.7		9.5		12.3			
	取扱事務の陳腐化	2.8		-		-		-		-		-		1.4		-			
	材料価格の上昇	9.9		12.0		8.1		10.8		13.5		13.3		12.2		9.6			
	料金の値下げ要請	2.8		-		-		1.4		4.1		-		1.4		-			
	人件費の増加	7.0		4.0		5.4		6.8		5.4		6.7		4.1		5.5			
	人件費以外の経費の増加	4.2		2.7		2.7		4.1		4.1		4.0		4.1		2.7			
	技術力の不足	5.6		1.3		2.7		5.4		1.4		2.7		2.7		1.4			
	取引先の減少	9.9		8.0		6.8		13.5		5.4		9.3		8.1		8.2			
	商圏人口の減少	4.2		8.0		9.5		6.8		8.1		6.7		5.4		6.8			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	4.2		2.7		1.4		2.7		4.1		2.7		1.4		1.4			
	店舗・設備の狭小・老朽化	4.2		9.3		4.1		6.8		6.8		8.0		9.5		11.0			
	代金回収の悪化	1.4		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	4.2		4.0		1.4		2.7		1.4		2.7		5.4		2.7			
	地場産業の衰退	1.4		1.3		1.4		1.4		1.4		1.3		1.4		1.4			
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		1.4		1.4		1.3		1.4		2.7				
その他	1.4		-		1.4		-		-		-		-		-				
問題なし	11.3		12.0		10.8		6.8		8.1		12.0		6.8		12.3				
重点経営施策(%)	販路を広げる	31.0		34.7		39.2		40.5		36.5		28.0		39.2		34.2			
	経費を削減する	29.6		40.0		36.5		37.8		35.1		36.0		36.5		35.6			
	宣伝・広告を強化する	22.5		25.3		25.7		24.3		24.3		22.7		25.7		24.7			
	新しい事業を始める	4.2		1.3		2.7		1.4		2.7		2.7		2.7		2.7			
	店舗・設備を改装する	4.2		6.7		4.1		5.4		9.5		5.3		8.1		6.8			
	提携先を見つける	9.9		9.3		10.8		10.8		14.9		10.7		12.2		11.0			
	技術力を強化する	14.1		12.0		9.5		10.8		10.8		12.0		9.5		8.2			
	機械化を推進する	-		1.3		1.4		-		2.7		-		1.4		-			
	人材を確保する	12.7		18.7		18.9		17.6		16.2		18.7		21.6		24.7			
	パート化を図る	4.2		-		-		-		1.4		2.7		1.4		1.4			
	教育訓練を強化する	8.5		5.3		6.8		13.5		6.8		5.3		5.4		6.8			
	労働条件を改善する	5.6		6.7		8.1		8.1		5.4		5.3		6.8		6.8			
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		1.4			
	その他	-		-		-		-		1.4		-		-		1.4			
	特になし	18.3		21.3		17.6		14.9		16.2		16.0		12.2		17.8			
有効回答事業所数	71		75		74		74		74		75		74		73				

建設業

転記表 No.1

2019年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	24.6	16.9	22.6	18.0	26.6	17.7	25.0	23.4	23.4	20.6	20.3	28.1	24.6	23.8	27.4	23.4		19.4
	普 通	55.7	69.5	59.7	68.9	59.3	66.2	64.1	62.5	57.8	66.7	62.5	61.0	63.1	65.1	58.1	64.1		64.5
	悪 い	19.7	13.6	17.7	13.1	14.1	16.1	10.9	14.1	18.8	12.7	17.2	10.9	12.3	11.1	14.5	12.5		16.1
	D・I	4.9	3.3	4.9	4.9	12.5	1.6	14.1	9.3	4.6	7.9	3.1	17.2	12.3	12.7	12.9	10.9		3.3
	修 正 値	2.4	2.1	6.7	-2.0	9.5	0.5	7.6	9.7	4.6	6.9	8.4	11.5	11.5	15.1	8.7	14.2	-2.8	4.0
	傾 向 値	0.1		2.5		5.7		8.2		9.1		8.8		8.6		8.4			
売 上 額	増 加	32.8	15.3	30.6	23.0	40.6	19.4	28.1	25.0	31.3	21.9	31.3	35.9	33.8	26.6	27.4	23.1		12.9
	変 ら ず	49.2	64.4	51.7	63.9	46.9	62.9	57.8	62.5	54.6	68.7	51.5	53.2	55.4	62.5	56.5	63.1		64.5
	減 少	18.0	20.3	17.7	13.1	12.5	17.7	14.1	12.5	14.1	9.4	17.2	10.9	10.8	10.9	16.1	13.8		22.6
	D・I	14.8	-5.0	12.9	9.9	28.1	1.7	14.0	12.5	17.2	12.5	14.1	25.0	23.0	15.7	11.3	9.3		-9.7
	修 正 値	14.5	-5.2	11.5	4.9	19.9	2.5	12.6	8.1	19.1	13.0	16.0	18.9	18.5	20.6	12.9	9.3	-5.6	-4.9
	傾 向 値	7.9		11.0		13.6		16.3		17.8		18.2		17.7		16.7			
受 注 残	増 加	23.0	11.9	22.6	16.4	31.3	16.1	21.9	21.9	26.6	18.8	25.0	28.1	32.3	21.9	25.8	26.2		12.9
	変 ら ず	62.2	76.2	66.1	68.8	59.3	72.6	67.2	65.6	64.0	71.8	56.2	65.6	55.4	67.2	61.3	58.4		66.1
	減 少	14.8	11.9	11.3	14.8	9.4	11.3	10.9	12.5	9.4	9.4	18.8	6.3	12.3	10.9	12.9	15.4		21.0
	D・I	8.2	0.0	11.3	1.6	21.9	4.8	11.0	9.4	17.2	9.4	6.2	21.8	20.0	11.0	12.9	10.8		-8.1
	修 正 値	8.2	-2.3	12.4	-0.2	15.1	3.8	6.8	6.7	20.3	6.9	10.3	20.4	16.2	14.1	11.3	11.7	-4.9	-6.1
	傾 向 値	5.0		8.0		10.7		12.6		14.2		14.7		13.8		13.8			
施 工 高	増 加	18.0	8.5	17.7	14.8	23.4	14.5	23.4	21.9	28.6	21.9	21.9	33.3	31.3	18.8	22.6	23.4		12.9
	変 ら ず	68.9	76.2	69.4	73.7	68.8	74.2	65.7	70.3	60.3	70.3	62.5	58.8	57.8	73.4	64.5	65.7		66.1
	減 少	13.1	15.3	12.9	11.5	7.8	11.3	10.9	7.8	11.1	7.8	15.6	7.9	10.9	7.8	12.9	10.9		21.0
	D・I	4.9	-6.8	4.8	3.3	15.6	3.2	12.5	14.1	17.5	14.1	6.3	25.4	20.4	11.0	9.7	12.5		-8.1
	修 正 値	8.6	-5.3	3.7	0.1	8.5	2.4	9.5	9.6	19.5	14.4	8.4	21.6	16.2	13.6	10.4	12.6	-5.8	-4.7
	傾 向 値	2.7		4.1		5.4		7.9		11.0		12.8		13.6		13.8			
収 益	増 加	16.4	8.5	19.4	11.5	26.6	8.1	14.1	18.8	20.3	15.6	20.3	23.4	32.3	17.2	22.6	18.5		16.1
	変 ら ず	65.6	72.9	64.5	75.4	59.3	75.8	70.3	64.0	64.1	71.9	64.1	67.2	53.9	71.9	56.4	67.7		58.1
	減 少	18.0	18.6	16.1	13.1	14.1	16.1	15.6	17.2	15.6	12.5	15.6	9.4	13.8	10.9	21.0	13.8		25.8
	D・I	-1.6	-10.1	3.3	-1.6	12.5	-8.0	-1.5	1.6	4.7	3.1	4.7	14.0	18.5	6.3	1.6	4.7		-9.7
	修 正 値	-1.5	-8.8	2.2	-5.2	5.4	-9.2	-2.1	-1.7	5.2	2.4	5.8	10.5	13.6	6.9	4.2	6.2	-9.4	-7.4
	傾 向 値	-2.4		-1.2		1.1		2.7		4.0		4.9		5.9		7.0			
価 格 動 向	請 負 価 格	-6.5	-6.8	-4.8	-3.2	3.2	-1.6	-1.6	0.0	-1.5	1.6	-3.2	1.5	7.7	1.5	-1.6	3.1		-6.4
	〃 修 正 値	-6.5	-7.3	-7.6	-3.8	-0.8	-3.8	-0.4	-2.6	0.1	1.5	-4.0	2.0	3.8	1.5	0.2	1.8	-3.6	-5.4
	〃 傾 向 値	-5.3		-5.1		-4.1		-2.9		-1.8		-1.0		-0.2		0.4			
	材 料 価 格	26.2	23.7	18.0	19.7	27.0	18.1	27.0	23.8	33.3	27.0	26.5	33.3	32.8	17.2	39.3	26.6		31.2
	〃 修 正 値	24.3	24.9	16.8	16.6	24.6	17.3	28.4	22.2	30.0	28.0	27.9	30.8	32.1	20.2	39.3	26.2	7.2	31.7
	〃 傾 向 値	20.2		21.1		22.2		24.1		25.4		27.4		29.2		31.4			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-3.3	-3.4	-3.3	-5.0	0.0	-4.9	-3.2	-1.6	-1.6	-4.7	-1.5	-3.2	-1.6	-3.1	-3.3	-3.1		-3.3
	〃 修 正 値	-2.3	-3.3	-4.2	-4.2	-0.5	-6.1	-2.7	-1.0	-1.1	-4.4	-1.8	-2.4	-1.9	-3.7	-3.0	-2.7	-1.1	-3.1
	資 金 繰 り	-3.3	-5.1	1.6	-4.9	-1.6	-3.2	-6.3	3.2	-6.3	-6.2	-6.3	-4.7	0.0	-4.6	-6.4	-1.5		-8.1
	〃 修 正 値	-4.1	-6.7	0.3	-6.7	-6.2	-4.1	-8.0	-1.1	-5.7	-7.8	-5.6	-4.9	-3.0	-3.5	-6.4	-4.0	-3.4	-7.9
前 年 同 期 比	売 上 額	9.9		0.0		12.5		10.9		12.5		9.4		26.2		11.5			
	収 益	0.0		-6.4		6.2		3.2		4.7		4.7		20.0		1.6			
雇 用	残 業 時 間	-11.5	-3.4	1.6	-6.6	0.0	6.5	6.3	0.0	-9.4	9.3	7.8	-1.5	10.7	6.4	4.8	4.7		-1.6
	人 手	-27.9	-30.5	-37.1	-29.5	-35.9	-34.4	-34.4	-35.9	-25.0	-28.1	-37.5	-34.4	-36.9	-33.9	-37.1	-37.5		-32.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	37.7	25.9	39.3	21.7	45.3	25.0	35.9	26.6	35.9	28.1	34.9	20.6	40.0	24.2	32.3	31.7		27.9
	借入しない/借入の予定なし(%)	62.3	74.1	60.7	78.3	54.7	75.0	64.1	73.4	64.1	71.9	65.1	79.4	60.0	75.8	67.7	68.3		72.1
	借 入 難 易 度	-5.7		7.5		-1.8		1.7		-3.8		-5.6		-5.5		0.0			
有効回答事業所数		61		62		64		64		64		64		65		62			

建設業

転記表 No.2

2019年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2017年		2017年		2017年		2018年		2018年		2018年		2018年		2019年		対 前期比	2019年 4～6月 期
		4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期						
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.3	-3.5	-3.2	-4.9	-3.1	-1.7	0.0	-1.6	-3.2	-4.9	-3.2	-3.2	-3.1	-3.3	-6.6	-5.0		-6.6
	実施した・予定あり	29.5	21.1	27.9	23.0	20.3	17.2	25.8	23.4	21.3	21.7	16.4	15.3	22.6	25.0	16.9	21.7		22.0
	事業用土地・建物	16.7	33.3	23.5	21.4	15.4	40.0	25.0	13.3	-	23.1	30.0	11.1	14.3	20.0	30.0	7.7		15.4
	機械・設備の新・増設	27.8	41.7	29.4	21.4	30.8	40.0	25.0	26.7	46.2	38.5	20.0	44.4	14.3	20.0	20.0	30.8		38.5
	機械・設備の更改	33.3	16.7	23.5	28.6	15.4	30.0	25.0	20.0	7.7	7.7	20.0	33.3	28.6	13.3	-	38.5		23.1
	事務機器	44.4	41.7	17.6	35.7	30.8	20.0	25.0	13.3	46.2	15.4	30.0	11.1	35.7	13.3	40.0	15.4		15.4
	車両	33.3	58.3	58.8	35.7	69.2	60.0	56.3	73.3	53.8	38.5	50.0	33.3	71.4	53.3	70.0	53.8		61.5
	その他	5.6	-	-	7.1	7.7	-	-	6.7	-	-	-	-	7.1	-	-	7.7		-
	実施しない・予定なし	70.5	78.9	72.1	77.0	79.7	82.8	74.2	76.6	78.7	78.3	83.6	84.7	77.4	75.0	83.1	78.3		78.0
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	24.6		14.5		18.8		15.6		20.3		21.9		23.1		22.6		
人手不足		31.1		41.9		42.2		34.4		35.9		34.4		35.4		37.1			
大手企業との競争の激化		18.0		12.9		15.6		15.6		17.2		20.3		16.9		11.3			
同業者間の競争の激化		27.9		30.6		31.3		23.4		28.1		25.0		27.7		24.2			
親企業による選別の強化		3.3		4.8		1.6		1.6		3.1		1.6		1.5		-			
合理化の不足		1.6		4.8		3.1		1.6		4.7		1.6		3.1		1.6			
利幅の縮小		18.0		21.0		17.2		14.1		14.1		17.2		10.8		19.4			
材料価格の上昇		16.4		19.4		18.8		18.8		20.3		18.8		24.6		16.1			
下請の確保難		23.0		12.9		10.9		12.5		7.8		10.9		20.0		17.7			
駐車場・資材置場の確保難		3.3		4.8		1.6		3.1		-		6.3		1.5		3.2			
人件費の増加		13.1		4.8		7.8		14.1		12.5		6.3		15.4		17.7			
人件費以外の経費の増加		4.9		1.6		1.6		3.1		1.6		3.1		3.1		1.6			
技術力の不足		-		6.5		3.1		3.1		6.3		6.3		3.1		4.8			
代金回収の悪化		3.3		1.6		-		-		3.1		1.6		-		-			
天候の不順		4.9		11.3		10.9		14.1		10.9		12.5		7.7		9.7			
地場産業の衰退		1.6		-		4.7		-		-		-		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退		1.6		-		-		-		3.1		1.6		1.5		-			
その他		-		-		3.1		-		3.1		1.6		3.1		1.6			
問題なし		11.5		11.3		9.4		14.1		9.4		10.9		7.7		6.5			
重点経営施策(%)		販路を広げる	37.7		35.5		32.8		40.6		39.1		31.3		32.3		30.6		
	経費を削減する	37.7		38.7		37.5		34.4		35.9		32.8		38.5		38.7			
	情報力を強化する	21.3		21.0		20.3		12.5		23.4		20.3		13.8		24.2			
	新しい工法を導入する	6.6		3.2		1.6		7.8		3.1		3.1		4.6		1.6			
	新しい事業を始める	-		4.8		3.1		1.6		1.6		1.6		3.1		1.6			
	技術力を高める	23.0		27.4		28.1		26.6		17.2		17.2		27.7		22.6			
	人材を確保する	36.1		35.5		35.9		42.2		39.1		43.8		41.5		43.5			
	パート化を図る	3.3		3.2		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	8.2		6.5		7.8		9.4		7.8		6.3		6.2		9.7			
	労働条件を改善する	8.2		8.1		9.4		6.3		9.4		9.4		6.2		6.5			
	不動産の有効活用を図る	1.6		6.5		-		1.6		4.7		1.6		3.1		3.2			
	その他	1.6		1.6		1.6		1.6		-		1.6		-		1.6			
	特になし	14.8		9.7		10.9		12.5		10.9		10.9		7.7		6.5			
有効回答事業所数	61		62		64		64		64		64		65		62				

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL:03-5662-0525 (直通) FAX:03-5662-0812